

# はじめに

この度は1/144 完全変形 キハールIIをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本キットはフル3Dプリントパーツの組み立てキットとなり、従来のガレージキットとはやや構成が異なるものとなります。

3Dプリントパーツの組み立てに関してはポリ棒の軸打ちや、グリスアップ、すり合わせ調整といった特殊な工程も含まれます。組み立て説明、各工程の詳細はディーラーサポートページ(aarumodels.com)にて動画等も交えて解説させていただきます(2018年9月頃から順次公開)。twitterでも告知いたしますのでもうしばらくお待ち下さい。

ディーラー AARU ご連絡先

代表者：インコ先生

Twitter：@inkoteacher

Web：aarumodels.com

Mail：aaru.inko@gmail.com

# 目次

1. パーツリスト
2. 組み立て補足説明
3. TR-6素体の組み立て
  - 脚部の組み立て
  - ドラムフレームの組み立て
  - 股関節ブロックの組み立て
  - 腰ブロックの組み立て
  - テールの組み立て
  - 胴体の組み立て
  - 腕部の組み立て
  - 頭部の組み立て
  - 素体最終組み立て
4. シールドブースターの組み立て
5. キハールユニットの組み立て
  - キハール用胴体の組み立て
  - キハール用ドラムフレームの組み立て
  - バインダーの組み立て
  - エンジンユニットの組み立て
  - シールドの組み立て
  - 頭部カバーの組み立て
  - 頭部センサーユニットの組み立て
6. 最終組み立て

パーツリスト

# ランナーA ブラックパーツ

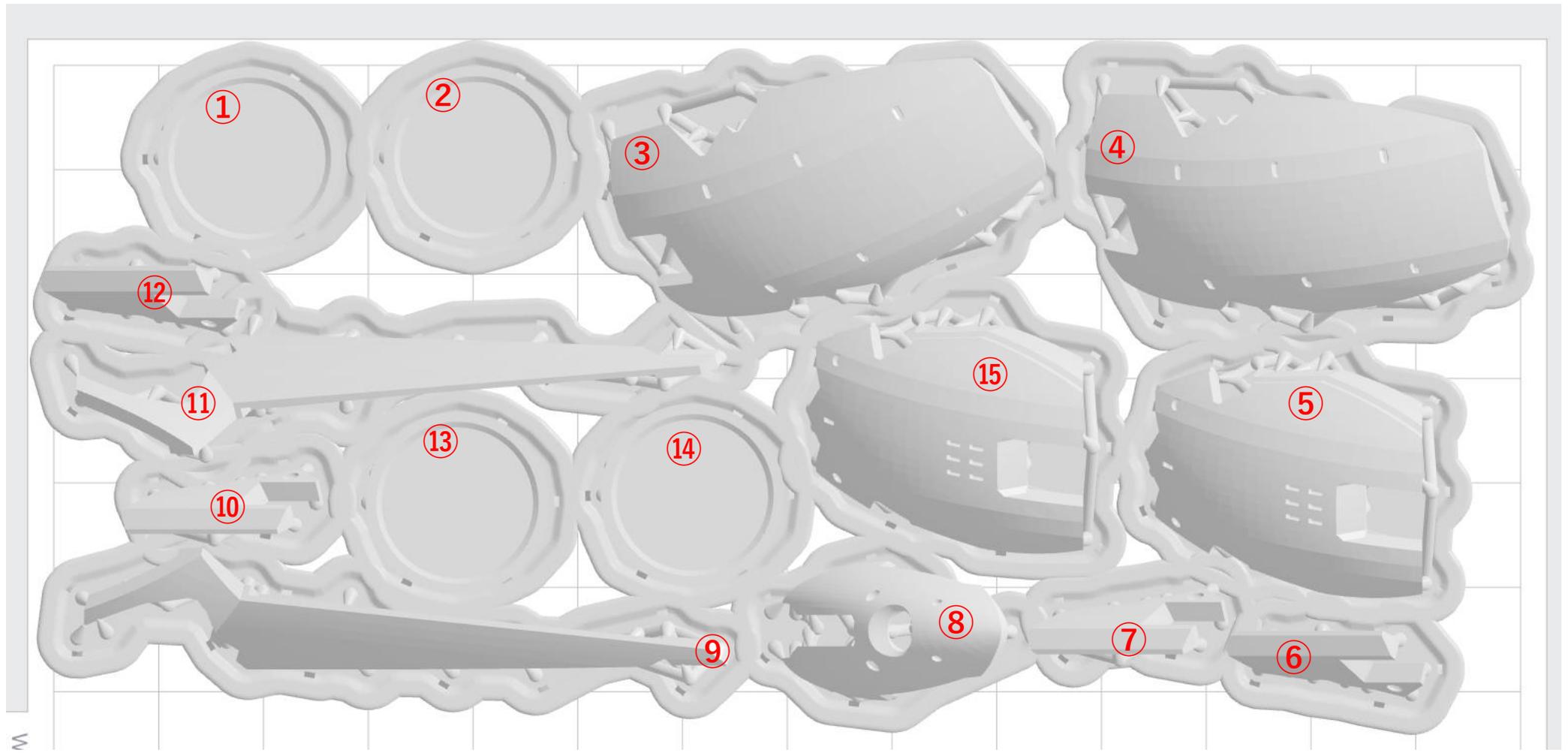


1パーツ

# ランナーB クリアグリーンパーツ

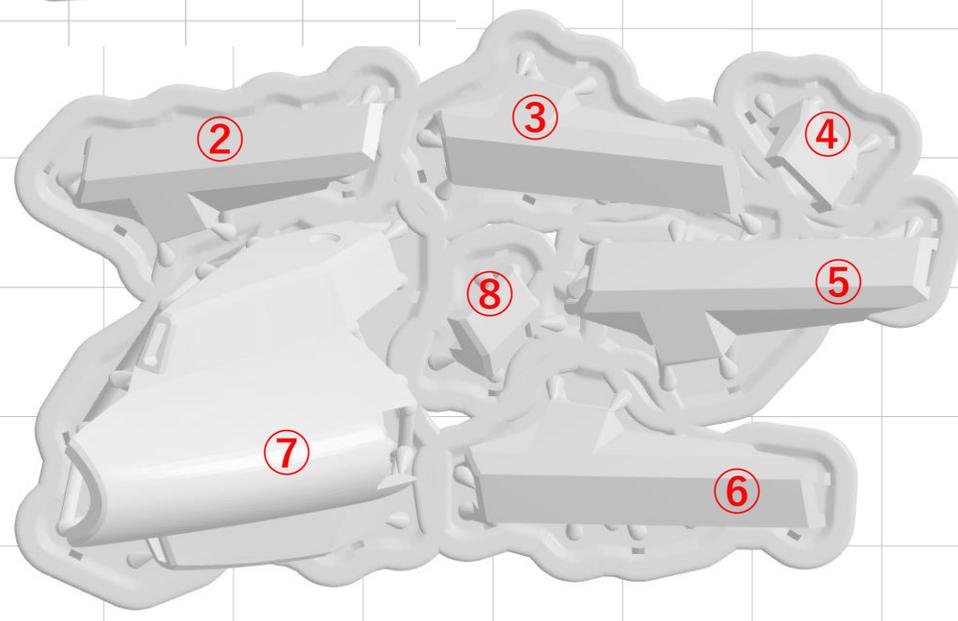
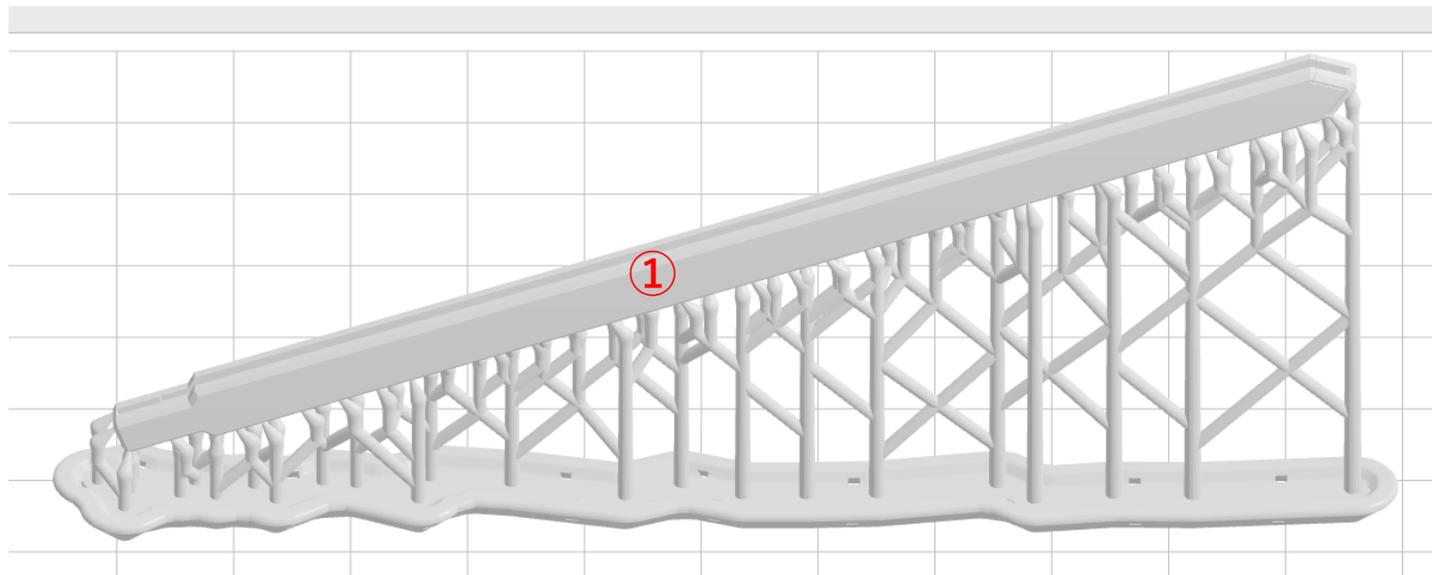


# ランナーC ホワイトパーツ



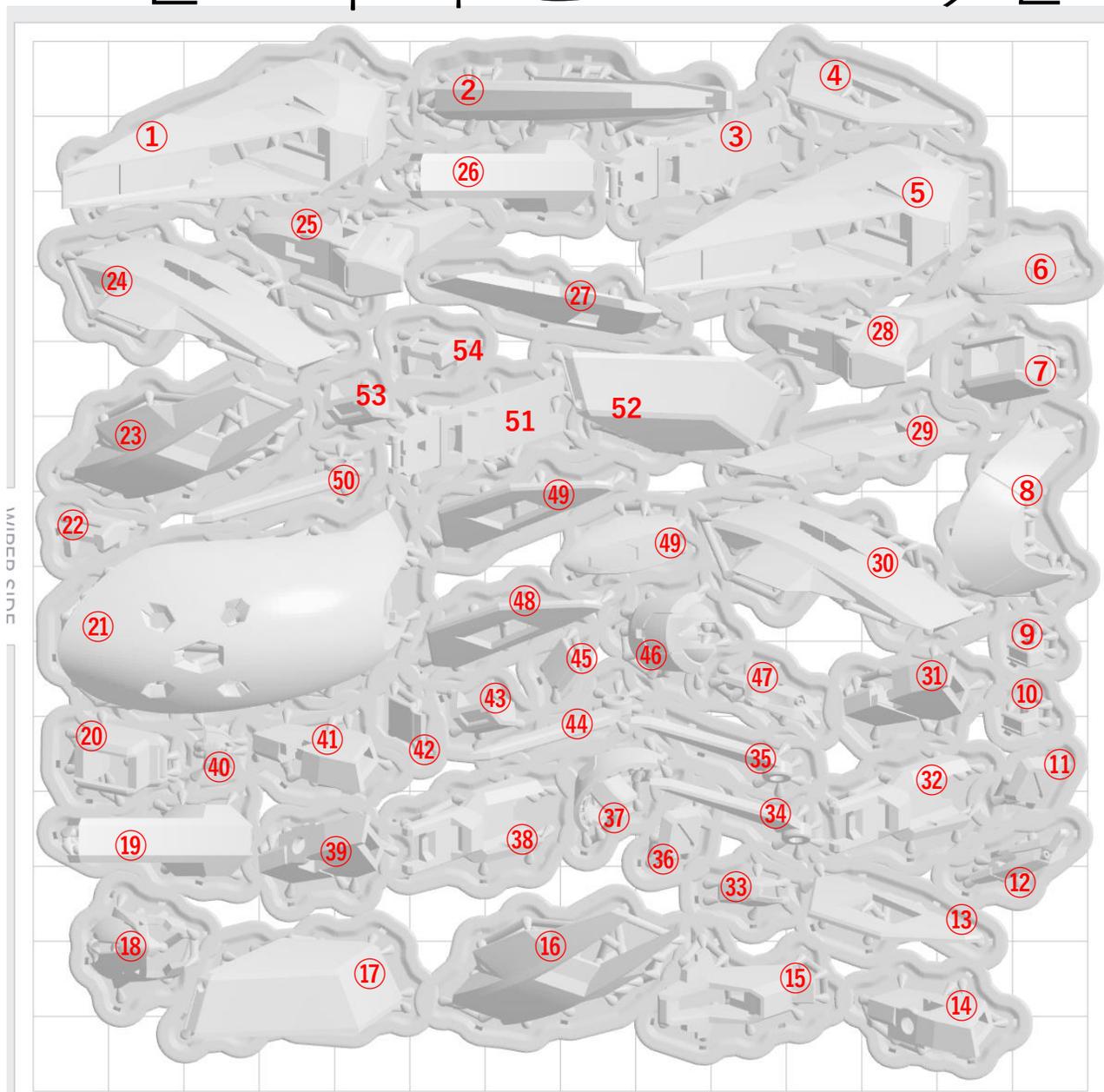
15パーツ

# ランナーD ネイビーパーツ1



8パーツ

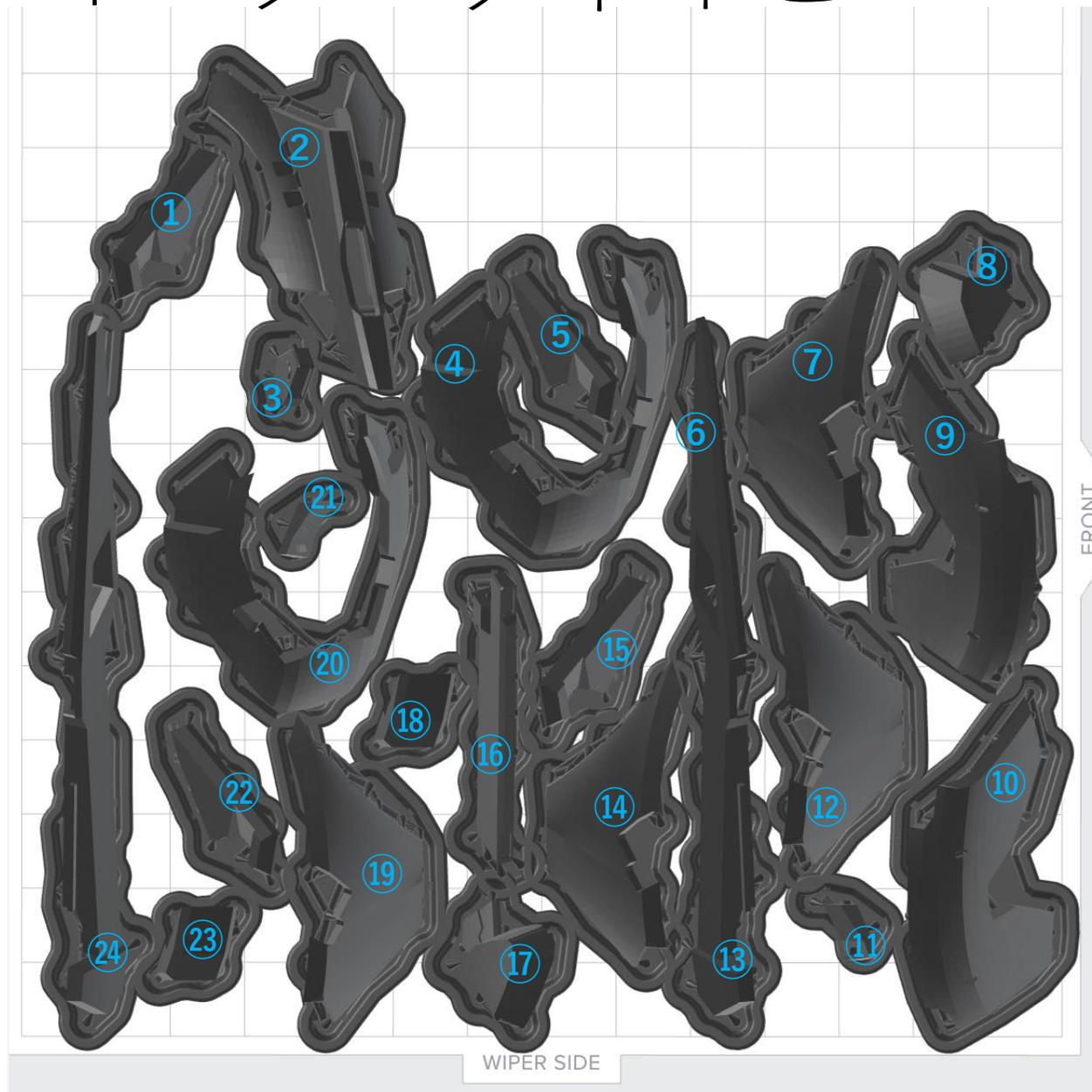
# ランナーE ネイビーパーツ2



※このパーツは②との選択式です。壁厚が薄いパーツのため、成形後、歪みが発生しています。熱矯正で修正できますのでやりやすい方を選択してください。

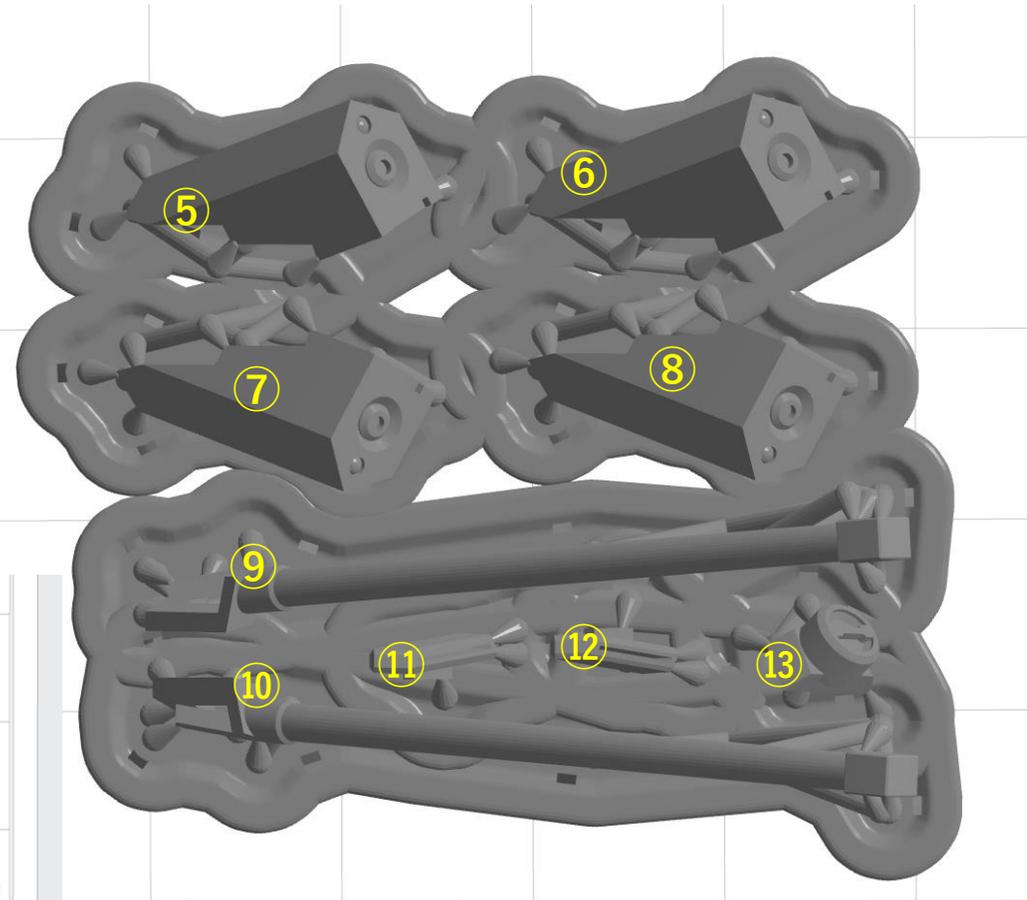
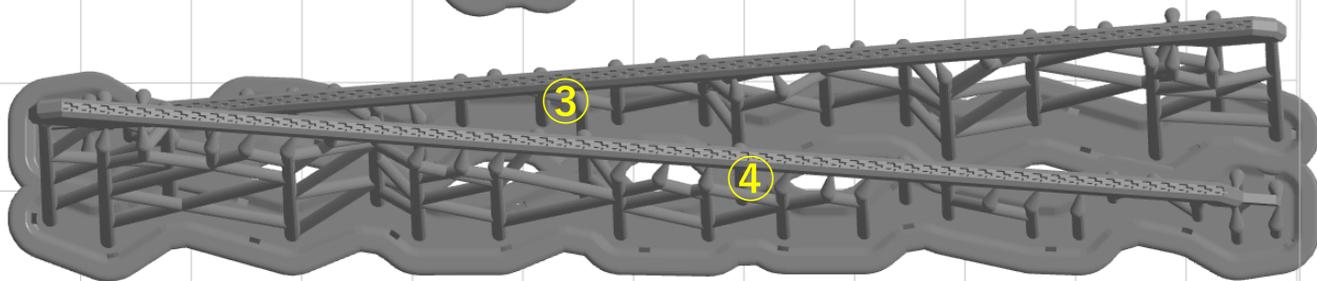
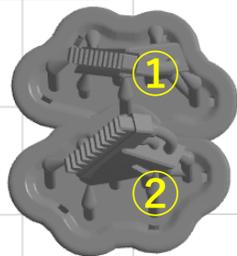
55パーツ

# ランナーF ダークネイビーパーツ



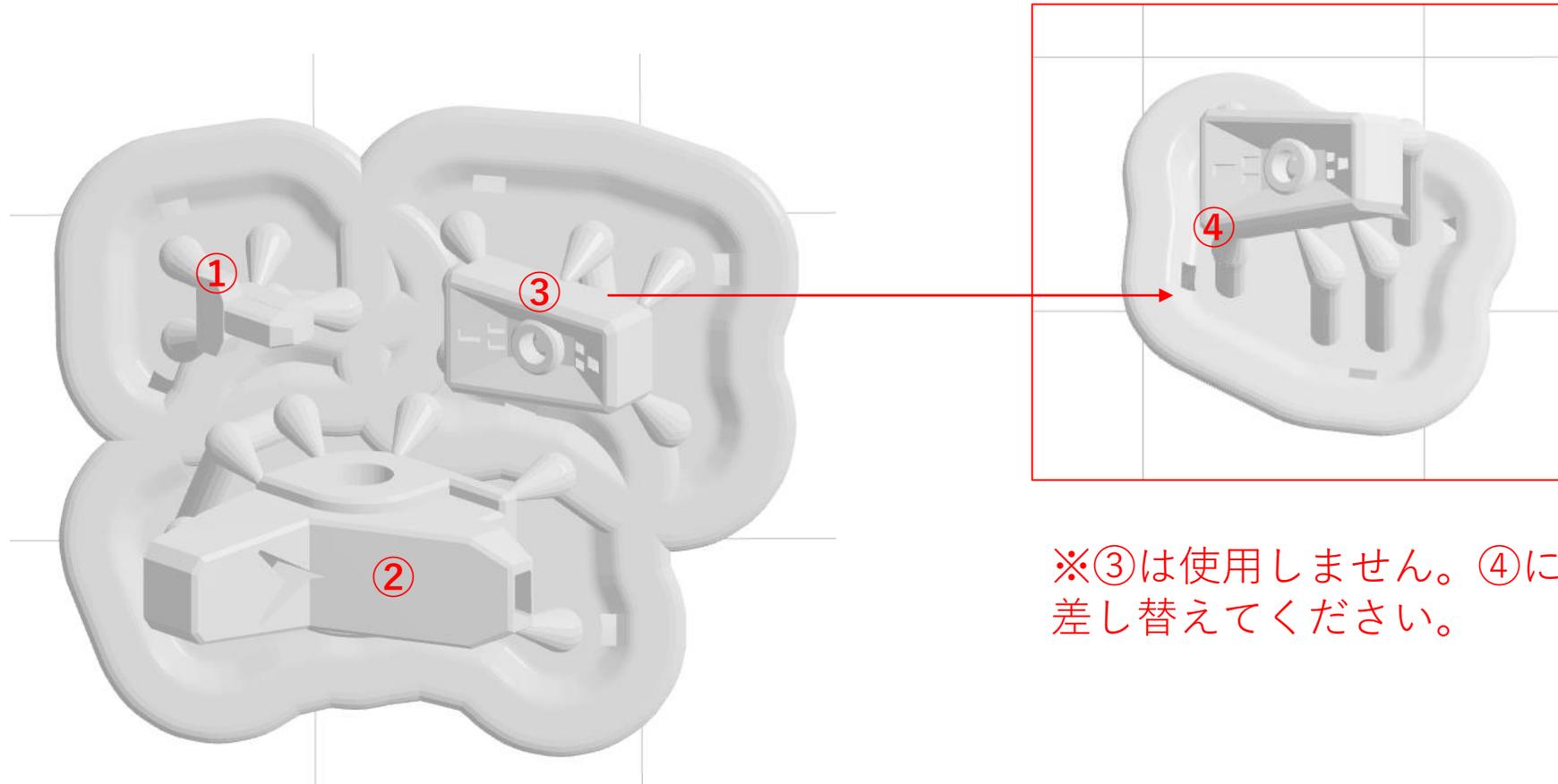
24パーツ

# ランナーG グレーパーツ



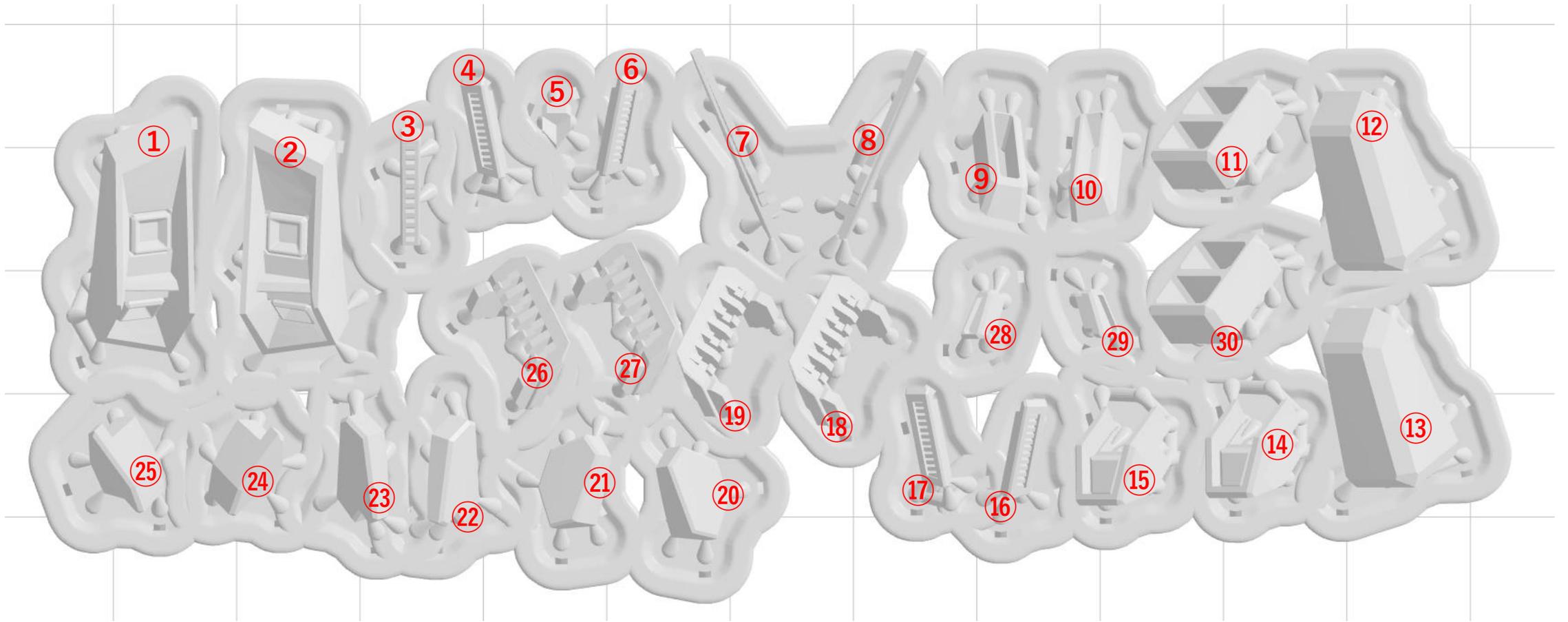
13パーツ

# ランナーH レッドパーツ



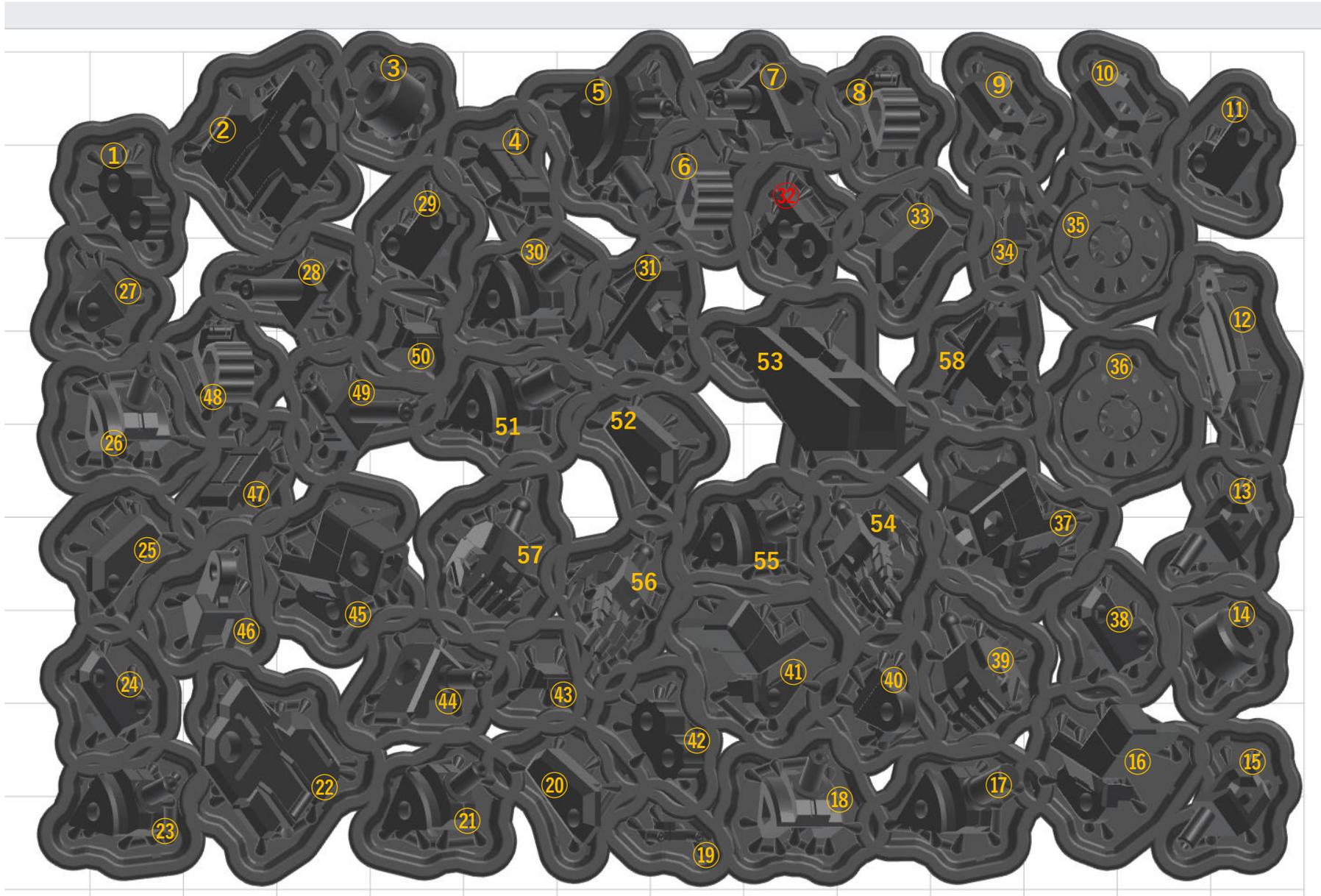
※③は使用しません。④に  
差し替えてください。

# ランナー | イエローパーツ



30パーツ

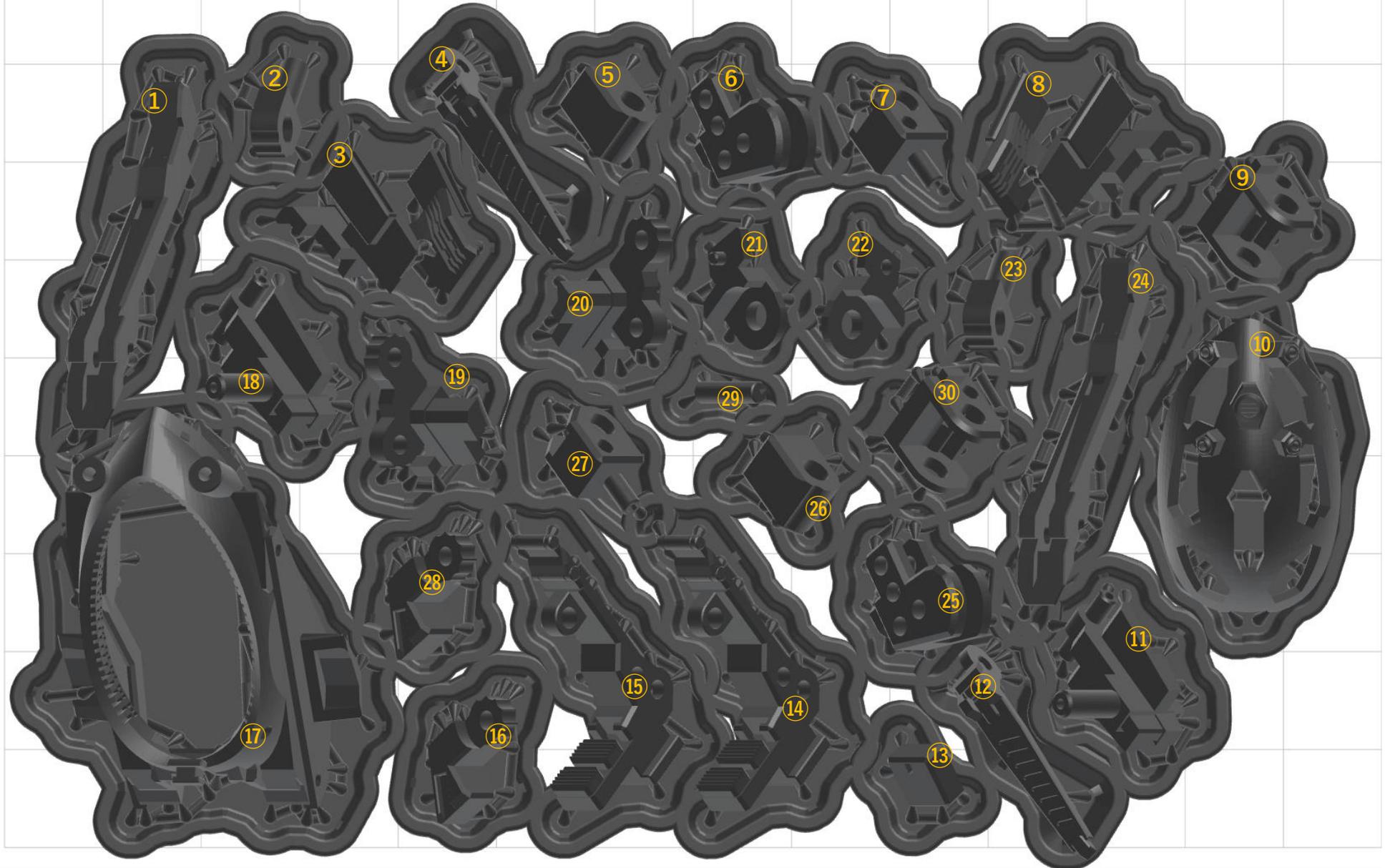
# ランナーJ フレームパーツ1



※③②は使用  
しません。

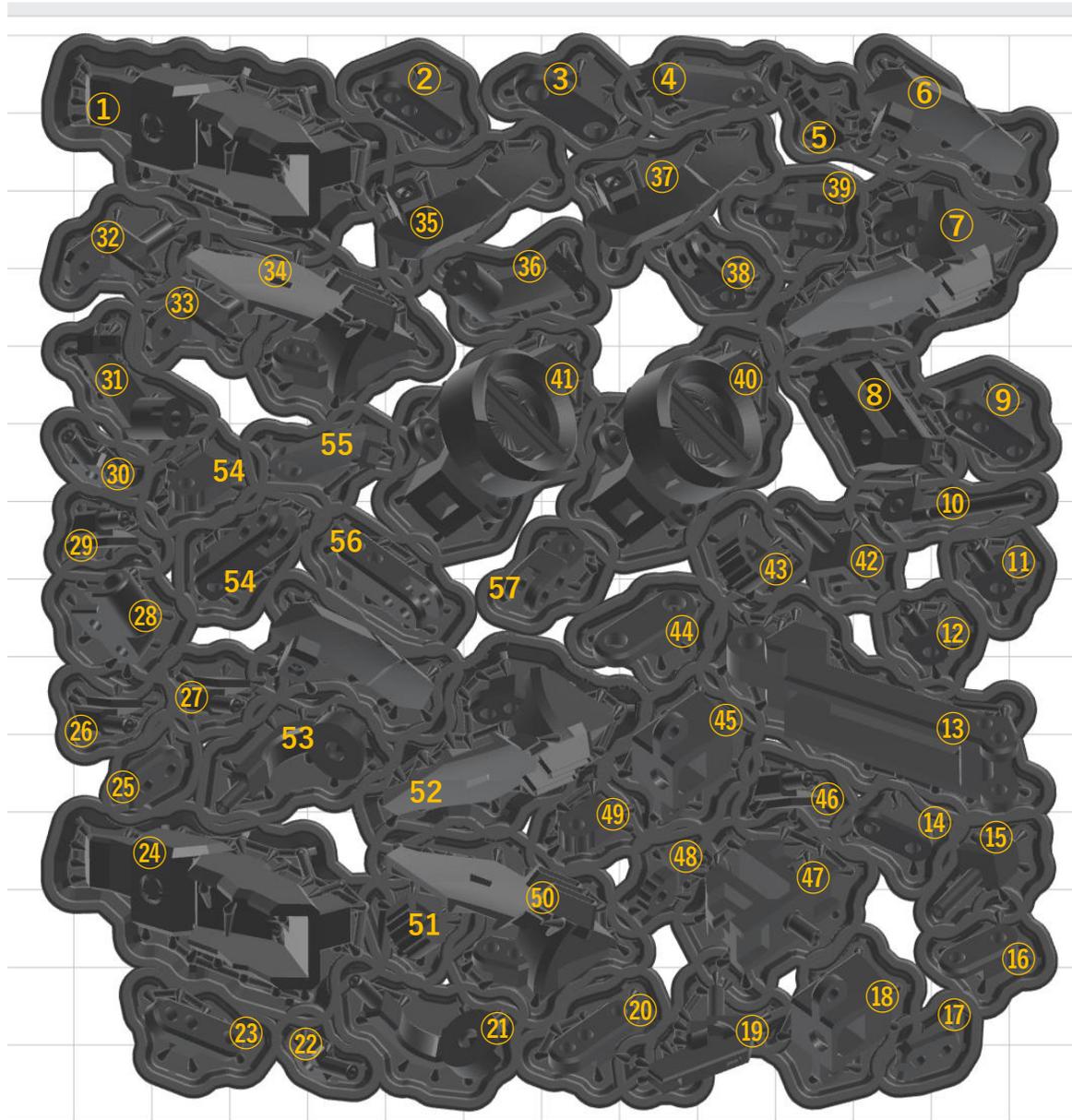
58パーツ

# ランナーK フレームパーツ2



30パーツ

# ランナーL フレームパーツ3



57パーツ



組み立て補足説明

# 組み立て補足 基本編

- 下記ページを最初にご確認ください。組み立てる上で必要なものが紹介されています。

<http://aarumodels.com/?p=952>

- また、組立工程の基礎情報が動画で解説されています。

<http://aarumodels.com/?p=717>

# ポリ棒の加工について

3mm棒は外枠から取ります

カットする際は黄線の部分がおすすめです。

2mm棒はパーツのそばから取ります

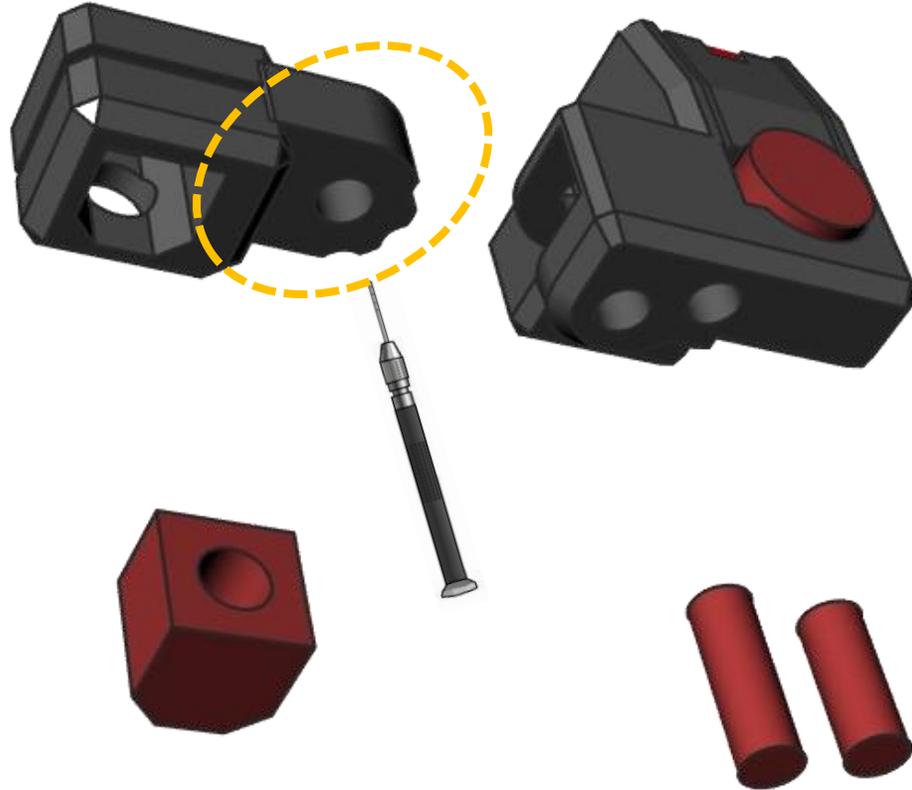


- およそ3mm分、差し込み用のピッチが稼げるので挿入しやすくなります。
- 組み立て説明ではおよその長さを記載していますが、殆どの場合、パーツへ挿入後、現物合わせでカットする方が良いです。

# ポリ棒の軸打ちについて

差し込み側

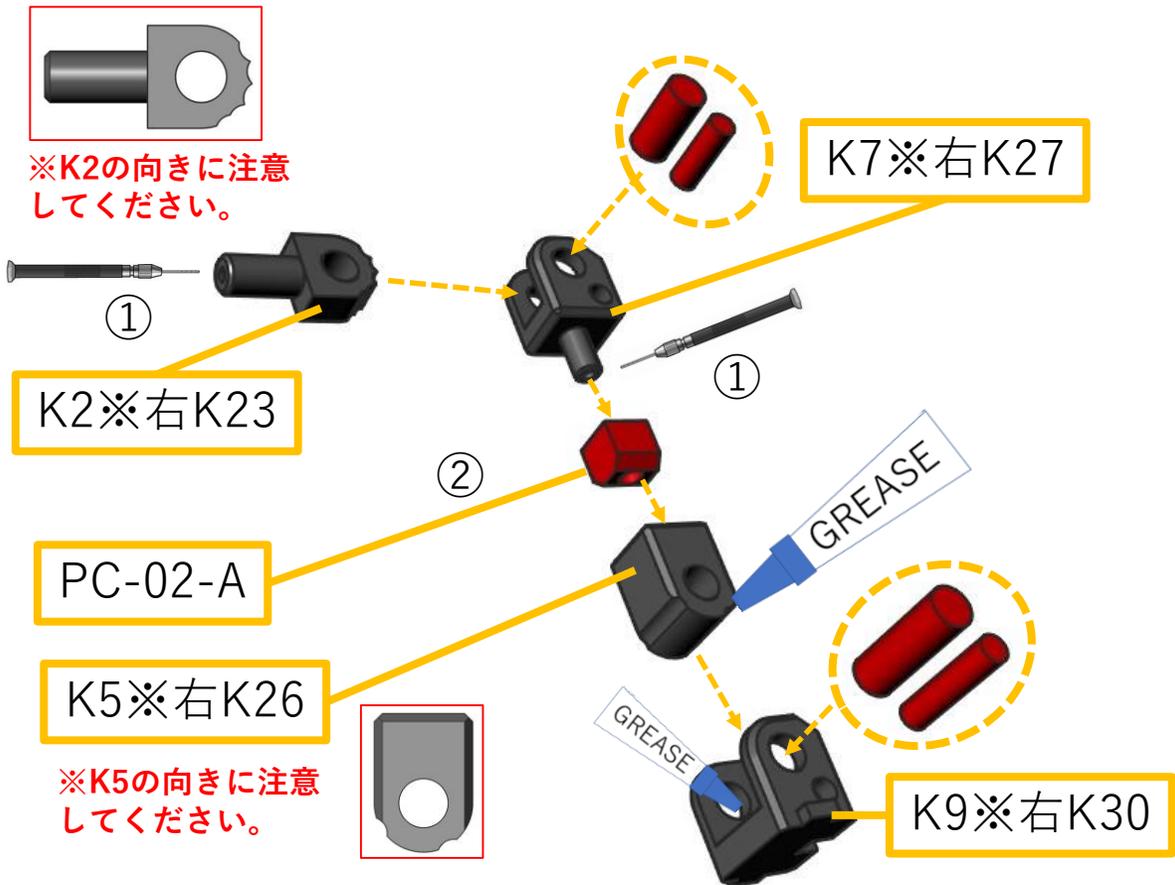
受け側



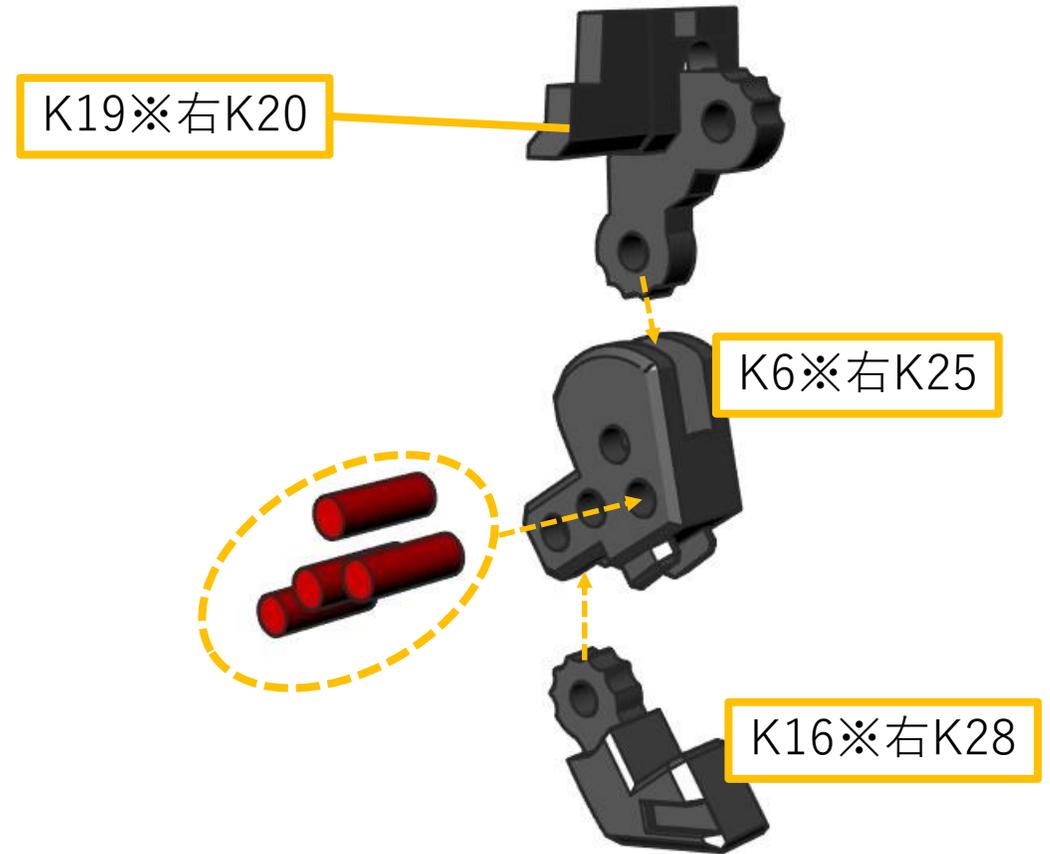
- 軸打ちする際にポリ棒が差し込みにくい場合、ドリルでクリアランス調整する必要があります。特に左図のように中に差し込み側のパーツの厚みがある(2mm以上)場合、難易度が上がります。
- 調整には2mm、3mmドリルを使用しますが、いきなり受け側、差し込み側両方をドリルで削るのではなく、まずは差し込み側だけを調整するようにしてください。

脚部の組み立て

# 左脚1 ※右脚も対称で作ります。

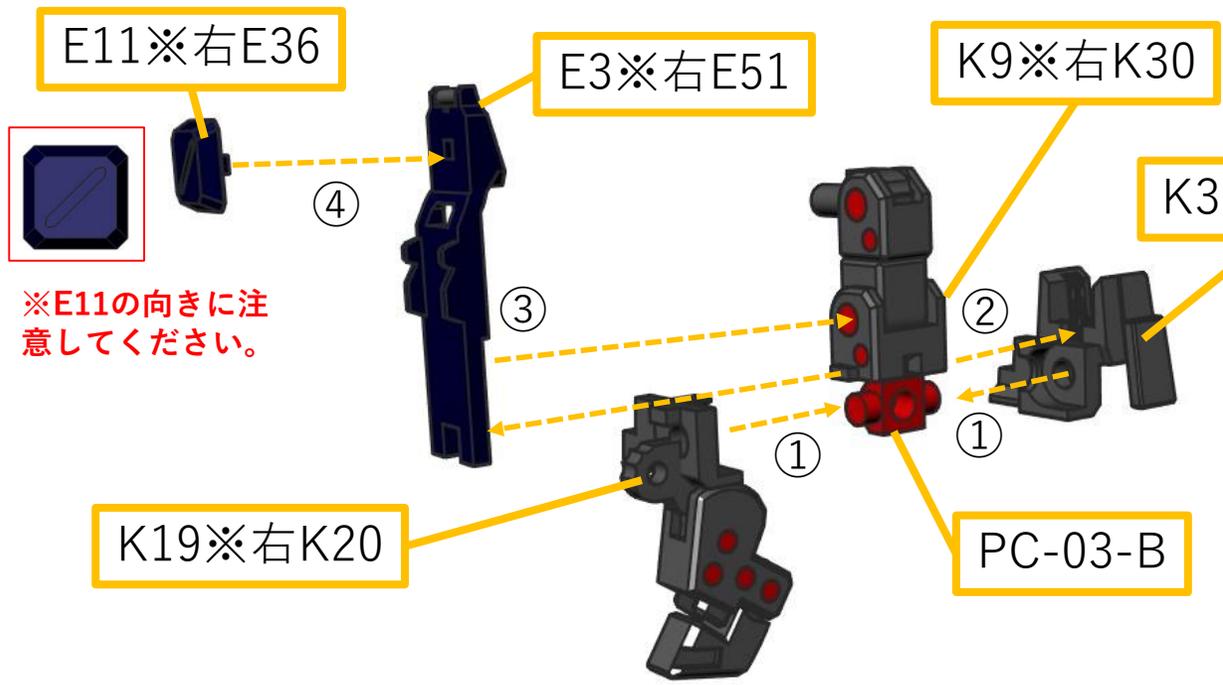


- ①K2、K7の軸を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線をインサート接着します。  
※K7の真鍮線が可動を妨げないよう、注意してください。
- ②PC-02-Aの軸をすべてカットします。
- ③上図のように、各パーツを組み合わせ、3mm、2mmポリ棒で軸打ち(現物合わせ)します。その際、K5とK9にはグリスをたっぷり塗布してください。



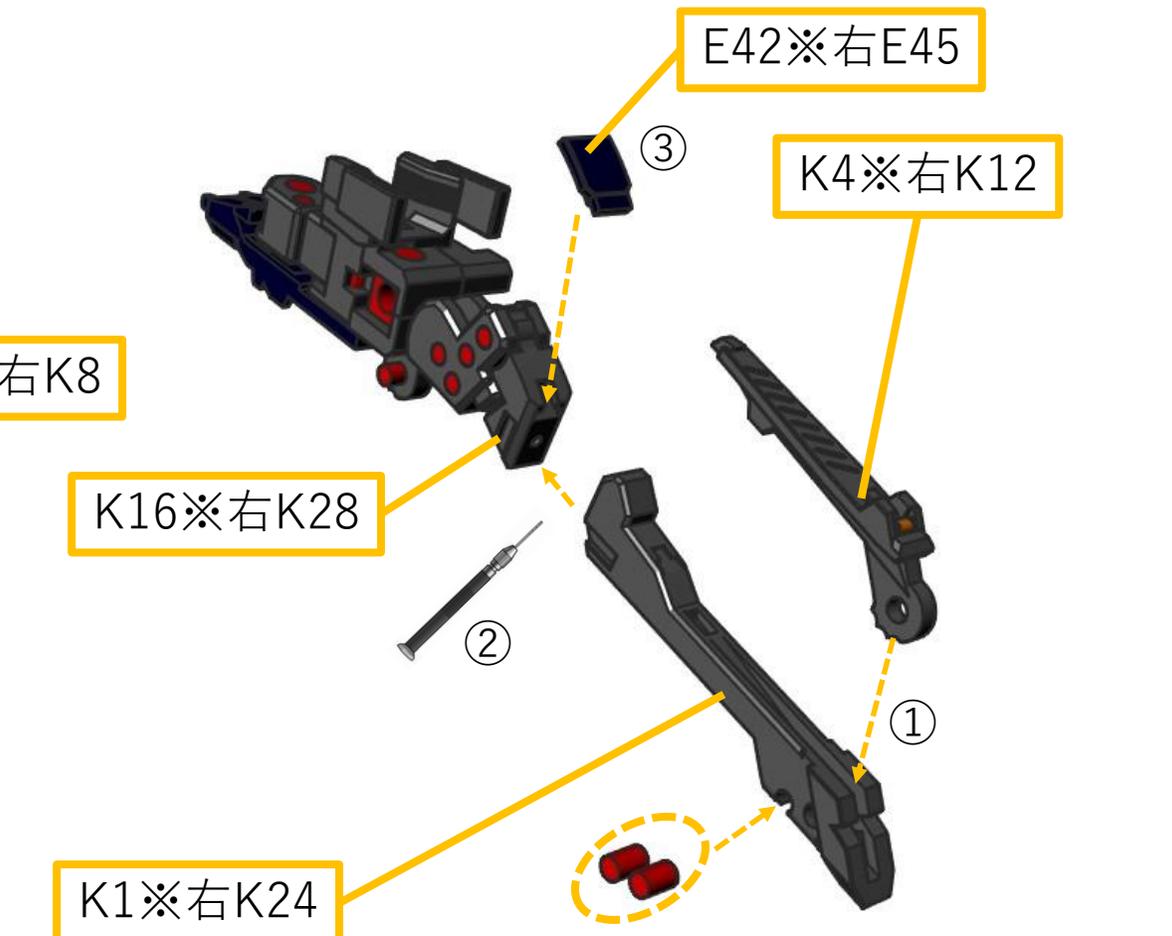
上図のように、各パーツを組み合わせ、2mmポリ棒で軸打ち(現物合わせ)します。

# 左脚2 ※右脚も対称で作ります。



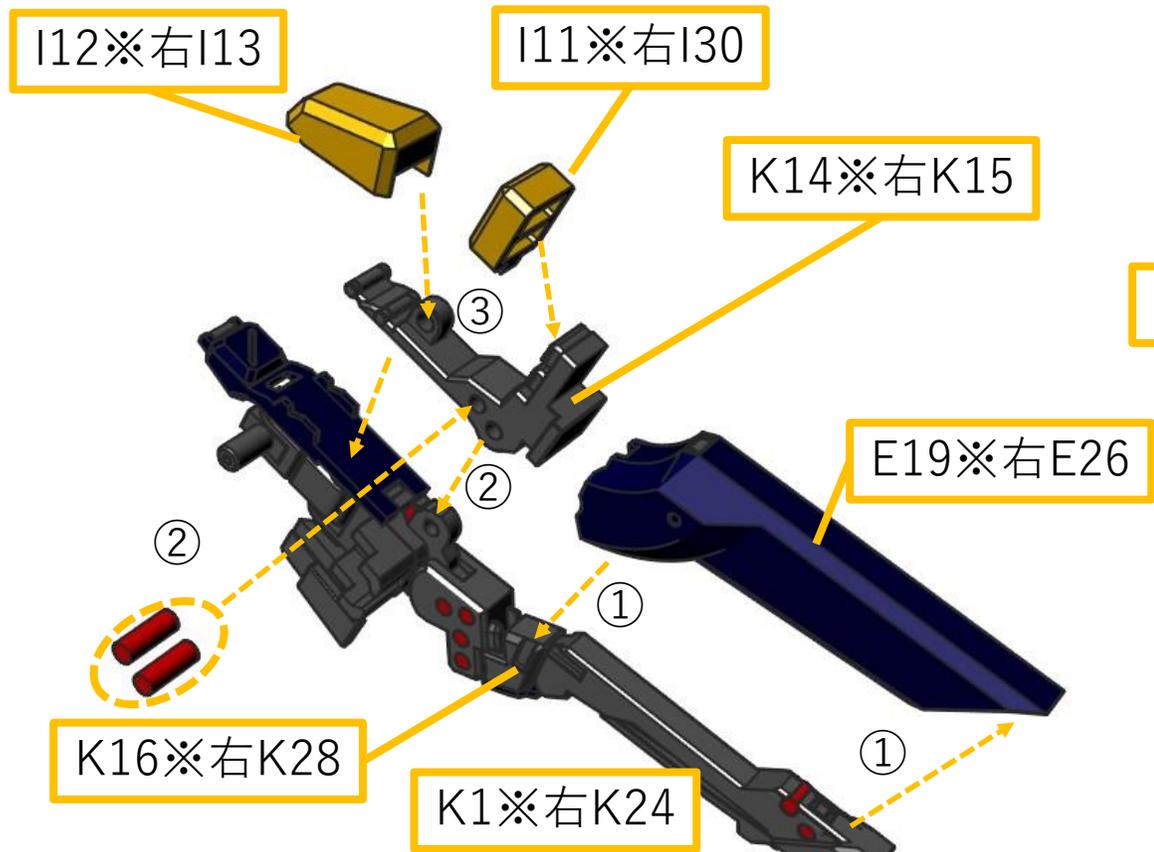
※E11の向きに注意してください。

- ① PC-03-B(軸は現物合わせでカット)をK3とK19で挟み込んで接着します。 **※合わせ目がずれないように注意してください。**
- ② K9の突起をK3の窪みとK19の突起に合わせつつ、下面をしっかりと接着します。
- ③ K9とK19の突起をE3の窪みに合わせつつ、接着します。 **※K9前面とK19の突起だけに接着してください。**
- ④ E11をE3に接着します。

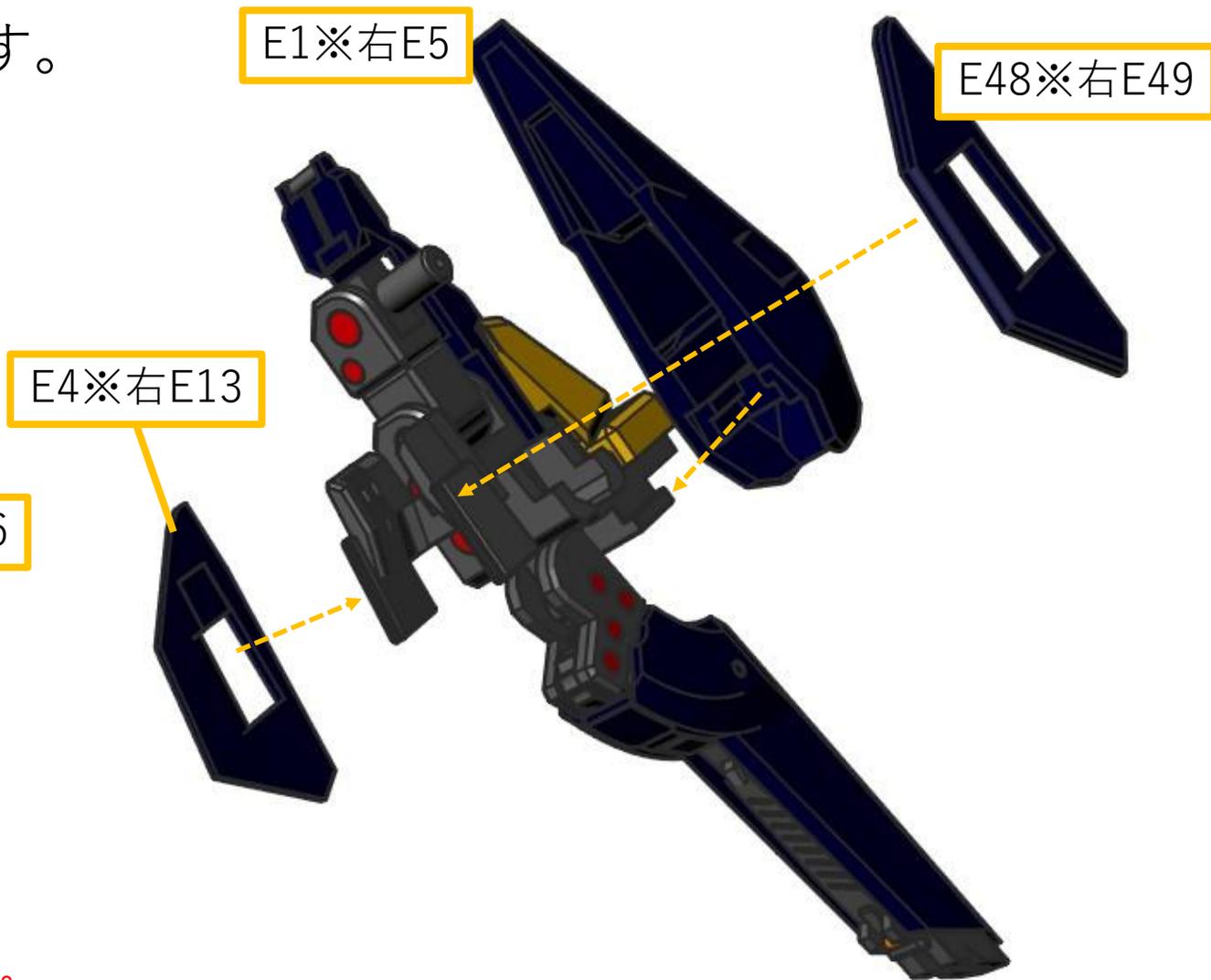


- ① K4をK1に挿入して2mmポリ棒で軸打ちします(長さは現物合わせ)。 **※K1、K4が大きく歪んでいた場合、熱矯正で修正してください。**
- ② K1とK16の穴を1.1mmドリルでトレースし、1mm真鍮線で補強して接着します。 **※K9前面とK19の突起だけに接着してください。**
- ③ E42をK16に接着します。

# 左脚3 ※右脚も対称で作ります。

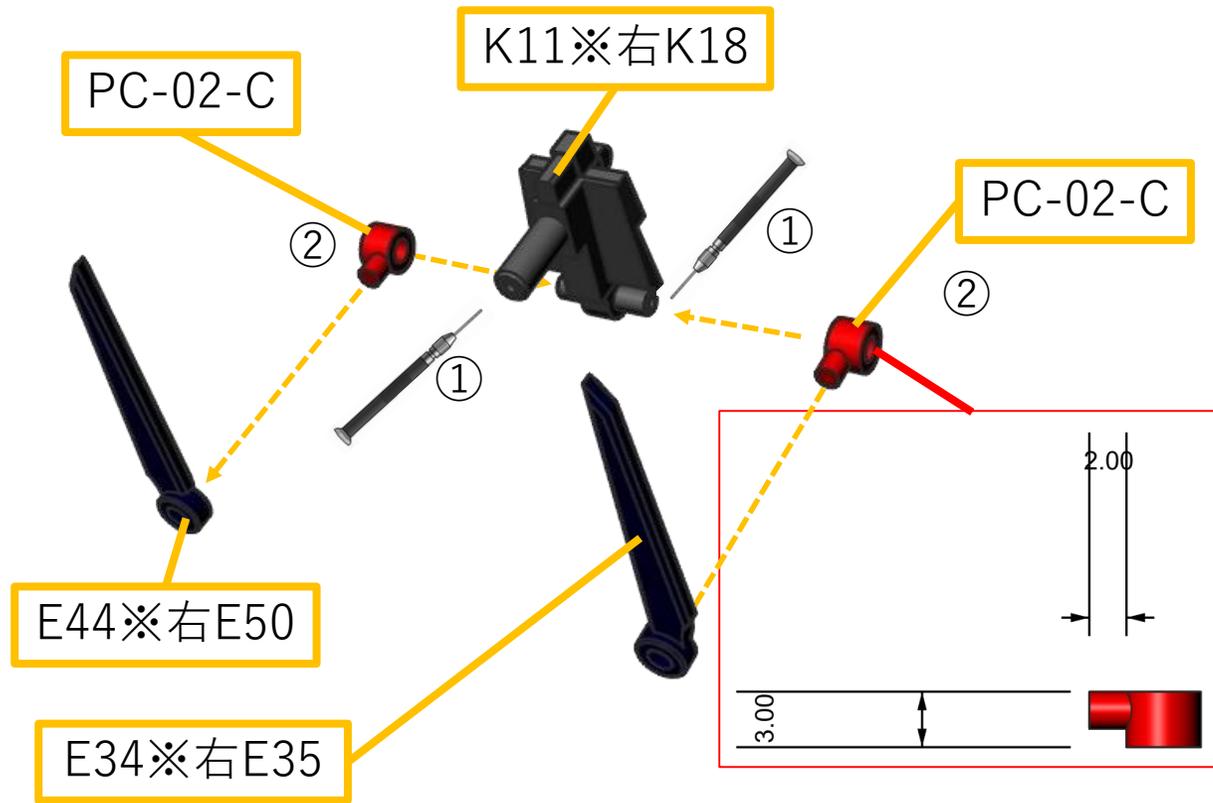


- ① E19内部の突起をK16の窪みに合わせ、K1の先端部とE19の先端部と合わせて接着します。 ※K1の可動部を避けて接着してください。 ※E19が歪んでいた場合、熱矯正で修正してください。
- ② K14を上図のように合わせ2mmポリ棒で軸打ちします(現物合わせ)。 ※ここは可動する必要がないので接着しても構いません。
- ③ I11、I12の順にK14に接着します。

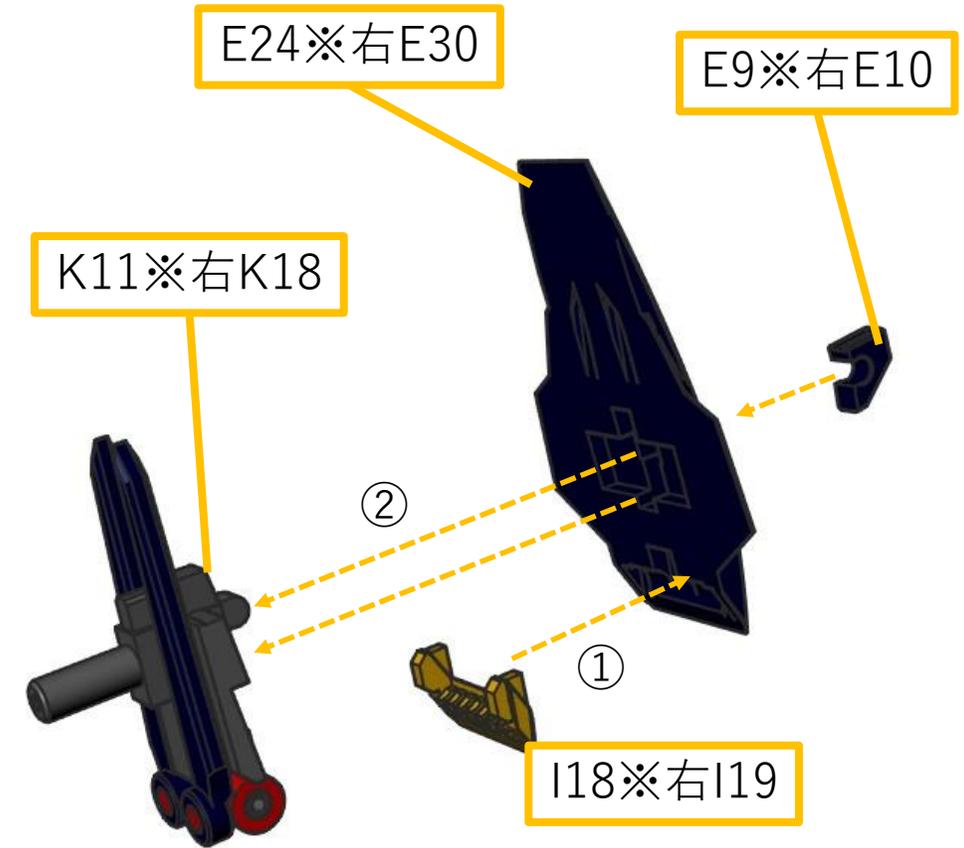


E1、E4、E48を上図のように接着します。E1は内部の突起をレールに滑り込ませるように、E4とE48はダクトにはめ込むように接着します。 ※E4、E48のはめ込みがきつい場合、枠側を少し削ってください。

# 左脚4 ※右脚も対称で作ります。

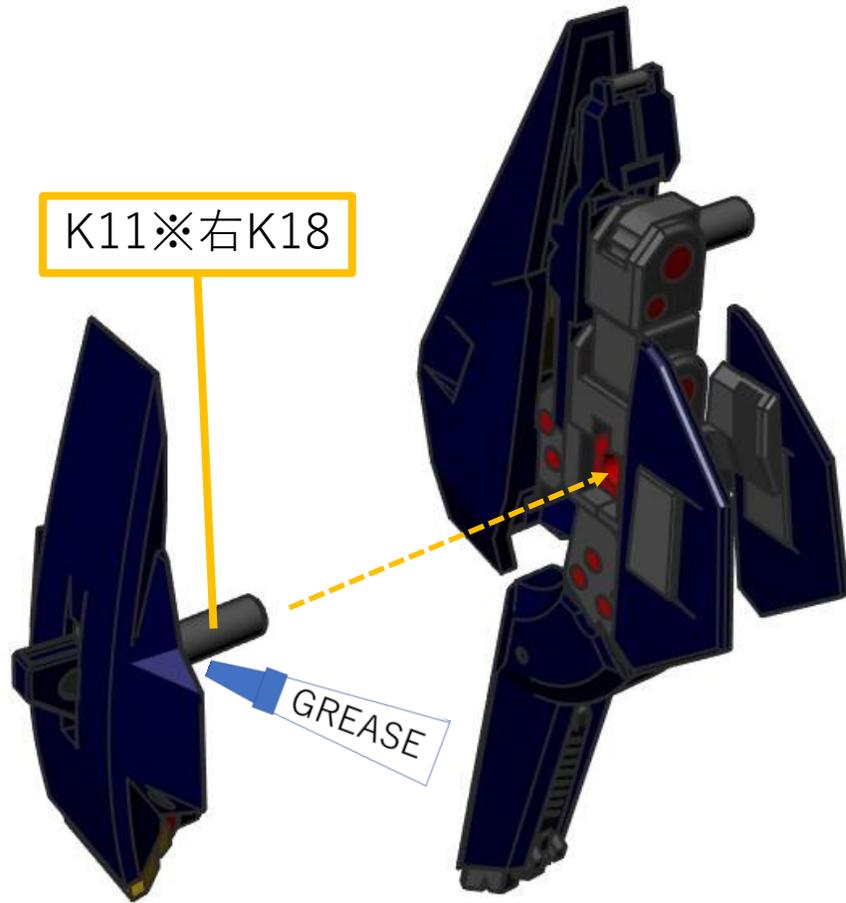


- ①K11の3mm軸、2mm軸ともに1.1mmドリルで穴をトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②PC-02-Cを加工し、上図のように各パーツを挿入します。

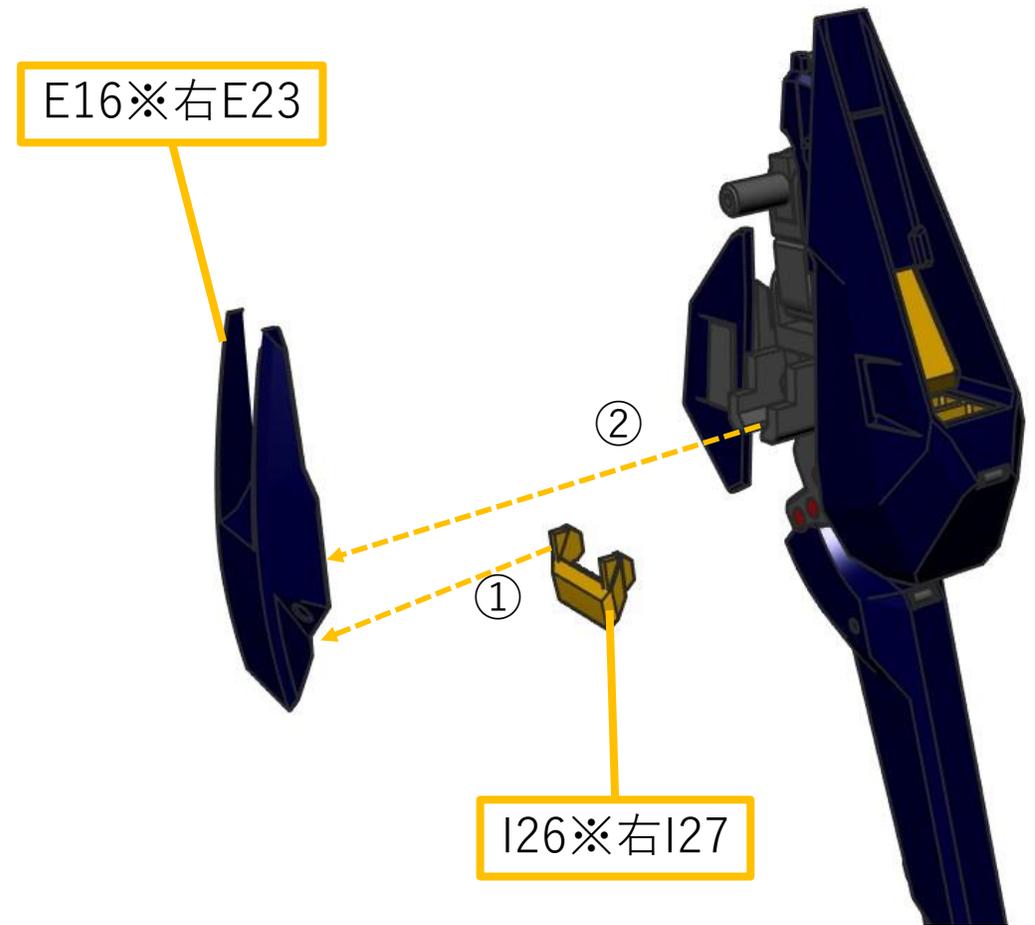


- ①I18の突起をE24の下端の窪みに合わせて接着します。
- ②E24、E9をK11に接着します。※K11がE24の奥までしっかり押し込めるようにクリアランスを調整・確認してから接着してください。

# 左脚5 ※右脚も対称で作ります。



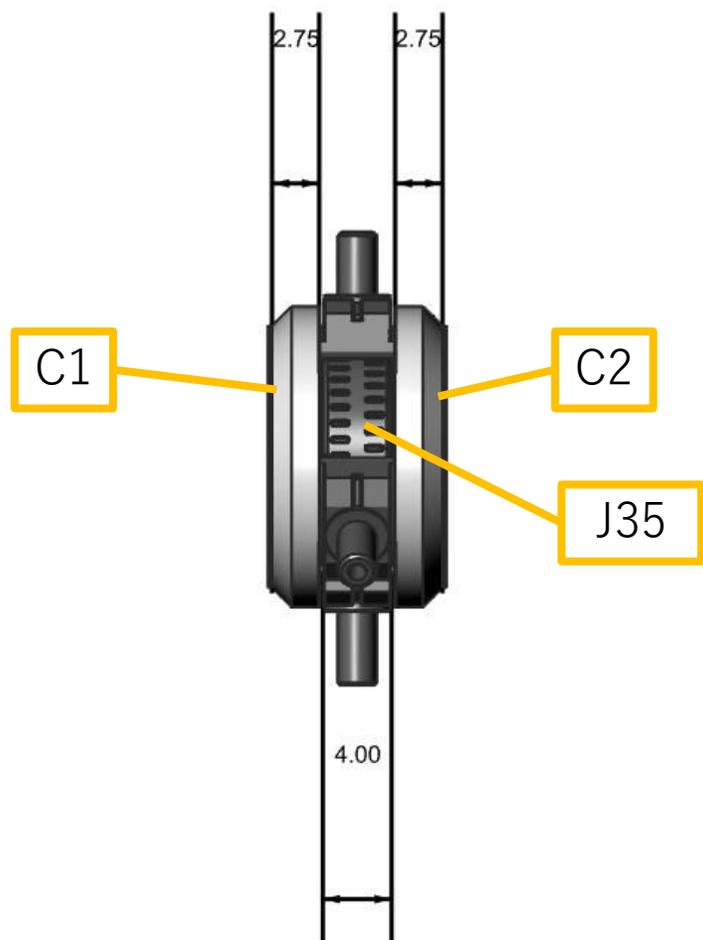
K11の3mm軸にグリスをたっぷり塗布し、太もも外側のポリに挿入します。※このスライドはある程度スムーズになるよう、必要に応じて軸側を削ってください。



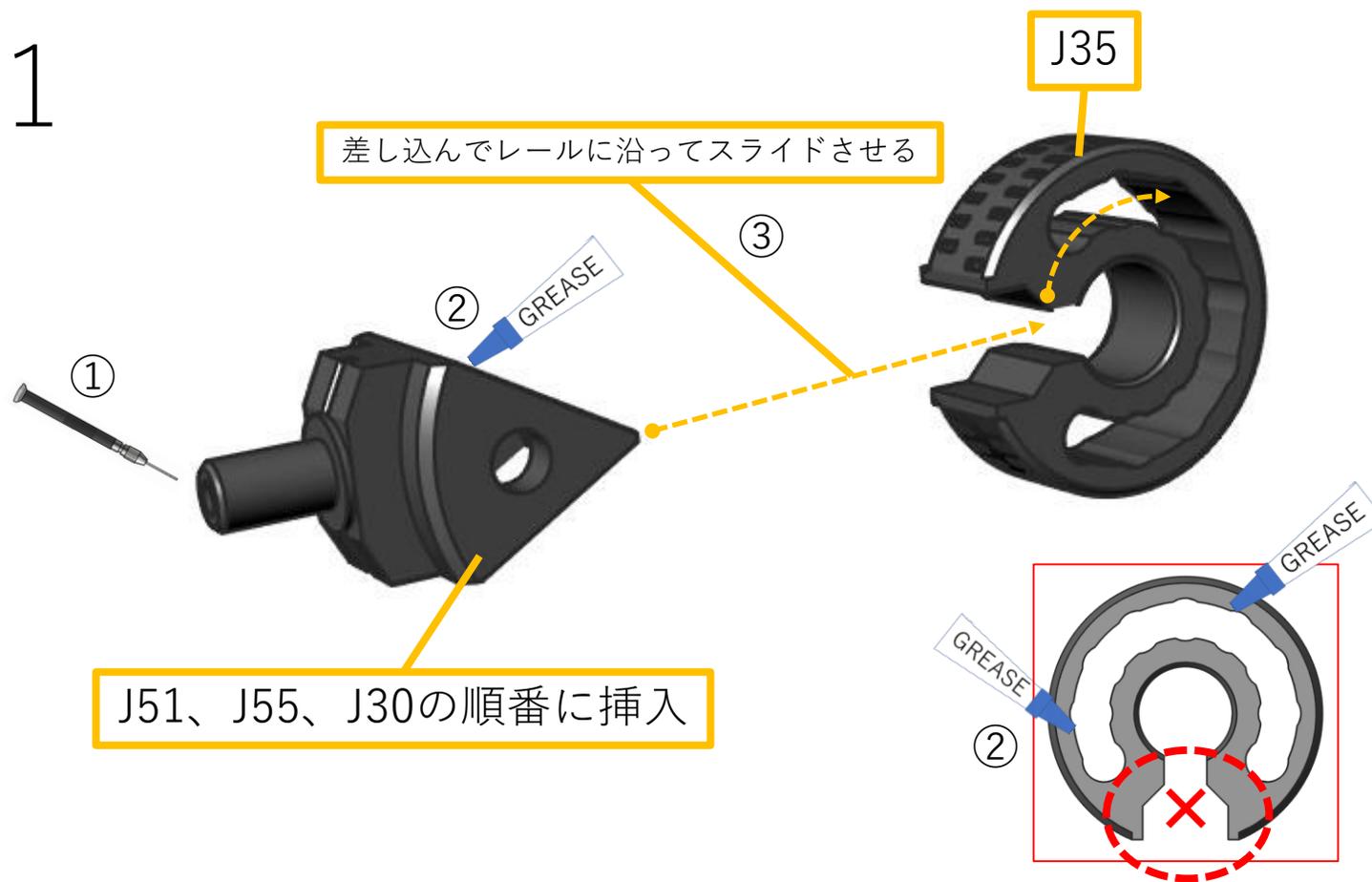
- ①I26の突起をE16の下端の窪みに合わせて接着します。
- ②太もも内側の突起をE16の窪みに合わせて接着します。

ドラムフレームの組み立て

# ドラムフレーム1

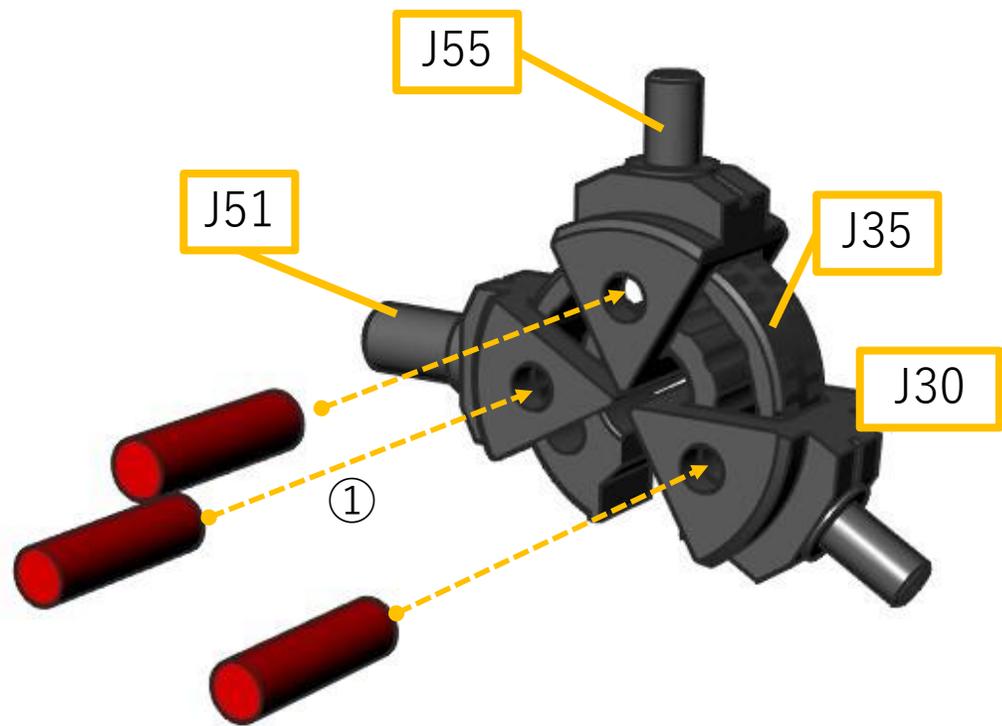


事前準備として、C1、C2、J35はサポート材がついている面を平行に回しながらペーパーで削り、上記厚さになるように整面してください。

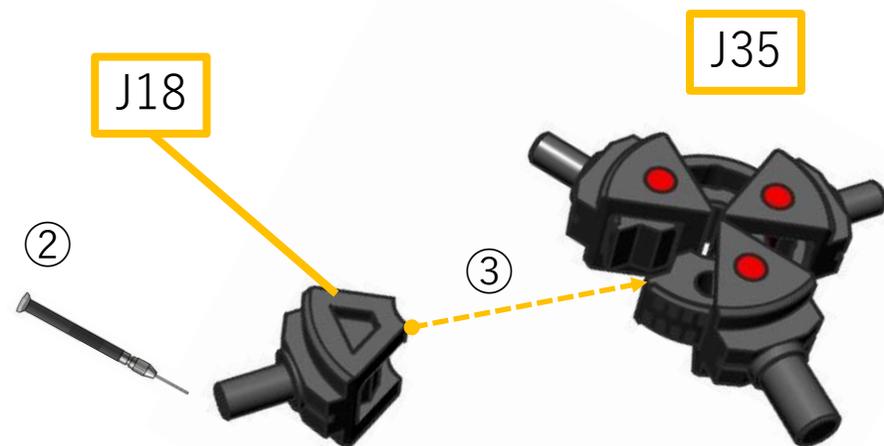


- ①J55、J30の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。**※貫通させないように注意！！**
- ②J51、J55、J30の裏側とJ35のレール内、レールの外側にグリスをたっぷり塗りたくります。**※赤い枠線内は接着するのでグリス塗布しないでください。**
- ③J51、J55、J30の順にJ35に差し込んでスライドさせていきます。

# ドラムフレーム2

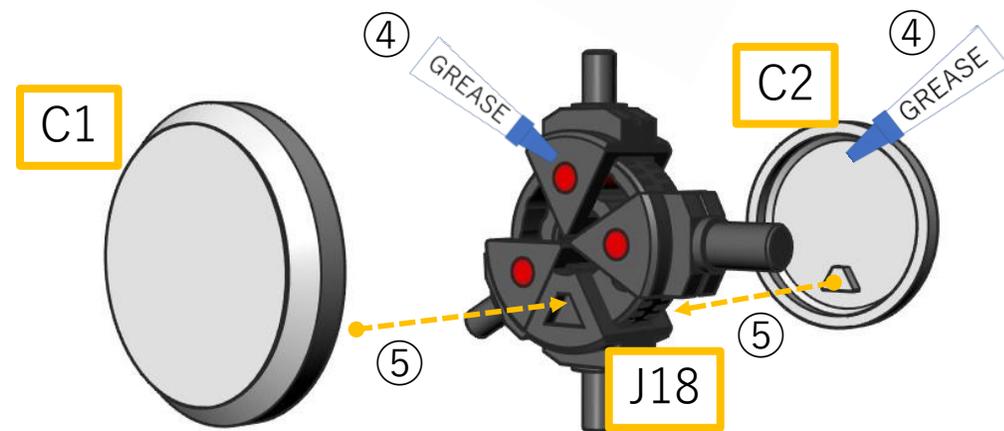


① J51、J55、J30の軸穴に2mmポリ棒(長さは現物合わせ)を挿入しJ35を貫通させます。



② J18の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。

③ J18をJ35に差し込んで接着します。※J30やJ51を接着しないよう注意!!

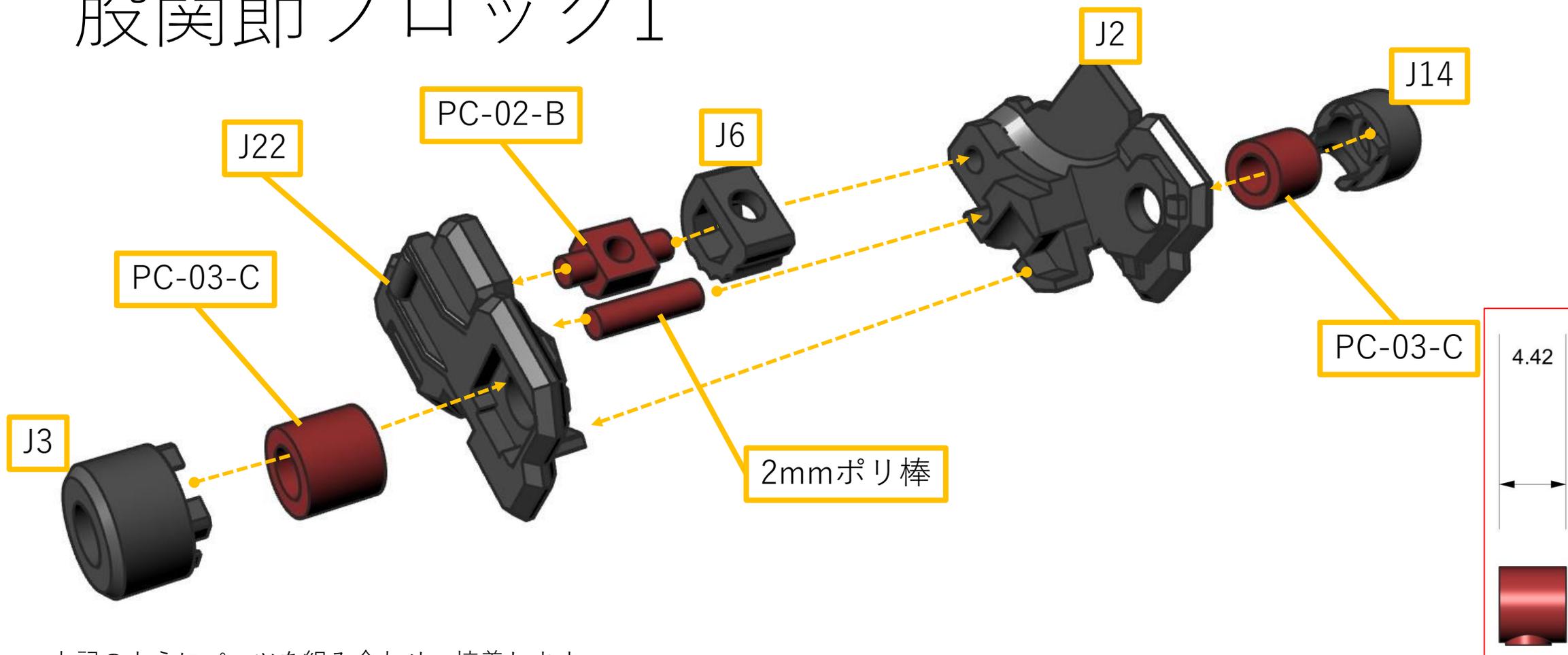


④ ドラムコアの各ジョイントの外側と、C1、C2の裏側にグリスを塗ります。※接着ダボ周辺に塗布しない要注意!!

⑤ C1、C2のダボをJ18の凹みに挿入して接着します。

股関節ブロックの組み立て

# 股関節ブロック1



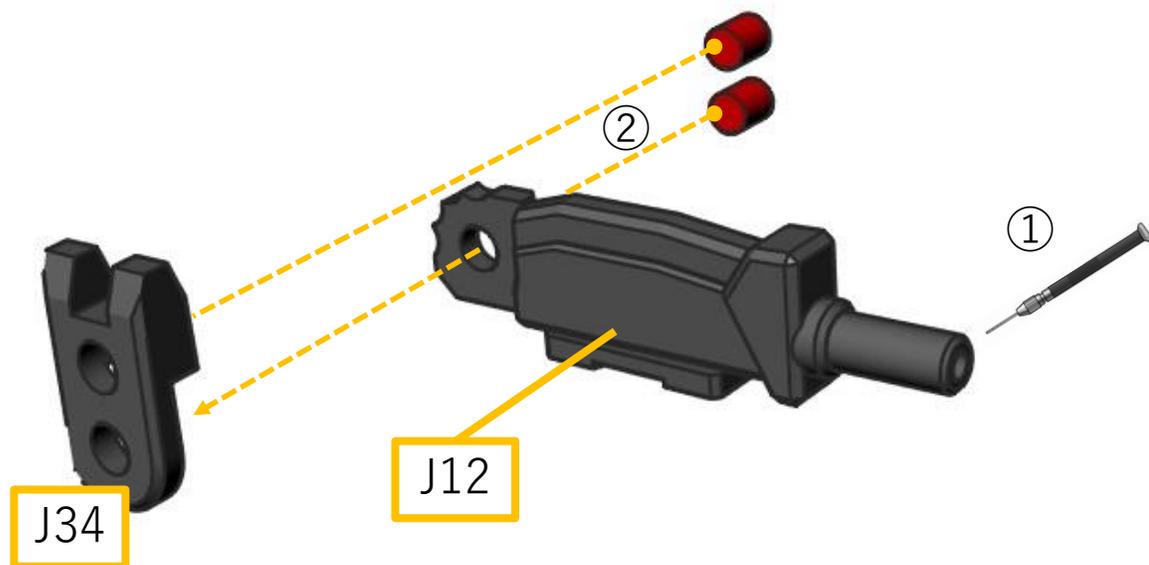
上記のようにパーツを組み合わせ、接着します。  
PC-02-B、2mmポリ棒の軸長は現物合わせ。

**※J6は可動部なので挟み込むだけです。**

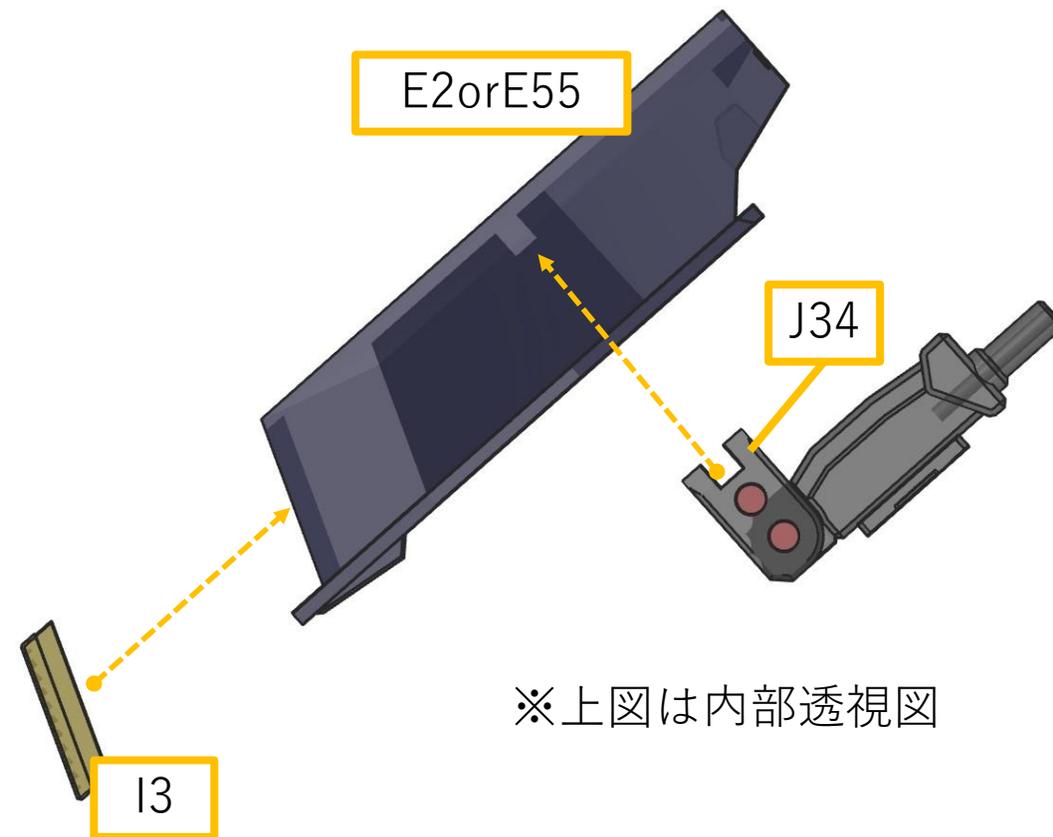
PC-03-Aは上図のように軸の一方を完全にカットし、片方を0.5mmから1mmほど残します。残った方が下を向きます。また、軸受側も一方だけ0.5から1mmほどカットし、そのカットした面側をJ2、J22に挿入します。

腰ブロックの組み立て

# 腰ブロック1



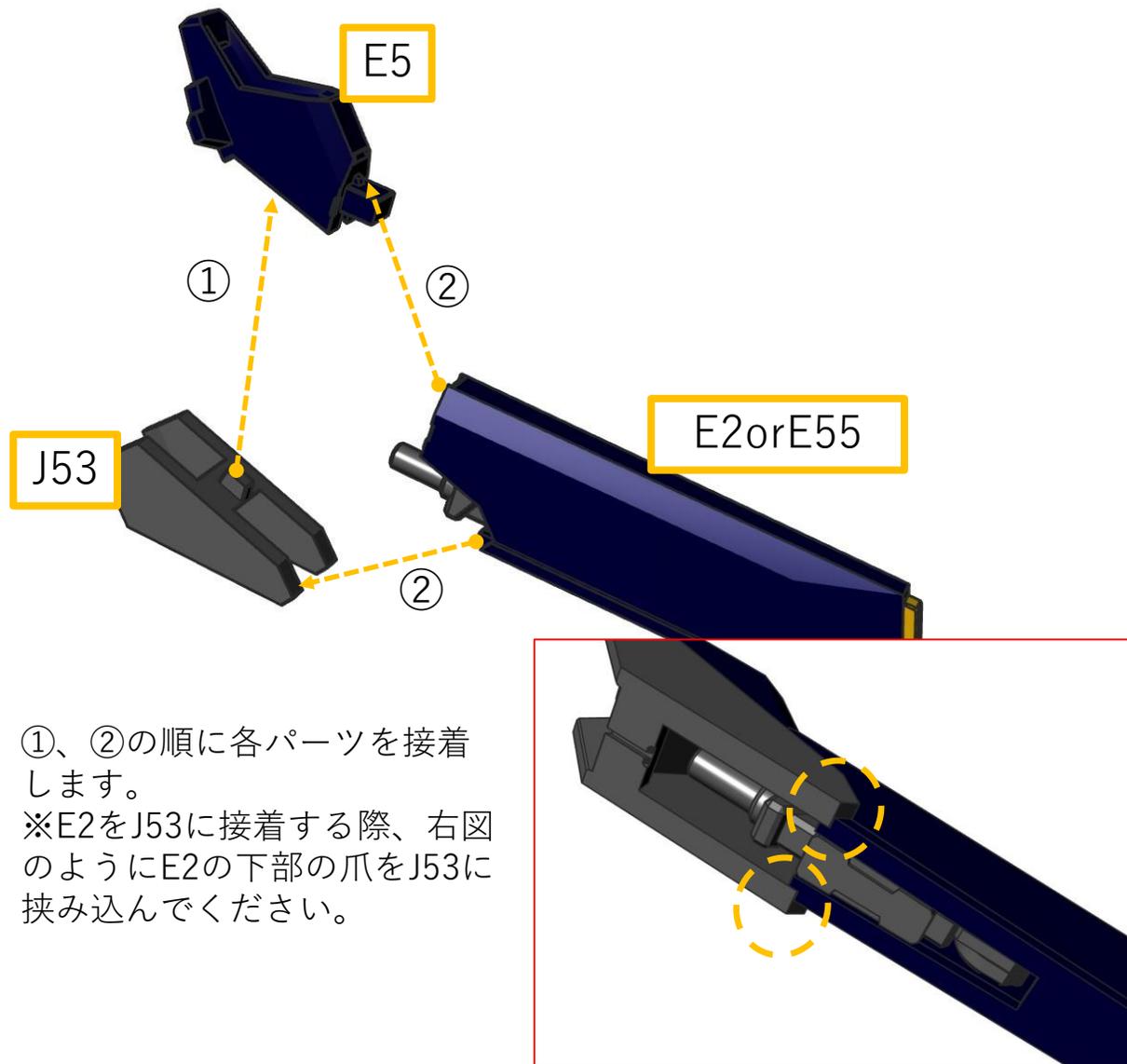
- ①J12の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②2mmポリ棒を挿入し、J12とJ34を組み合わせます。



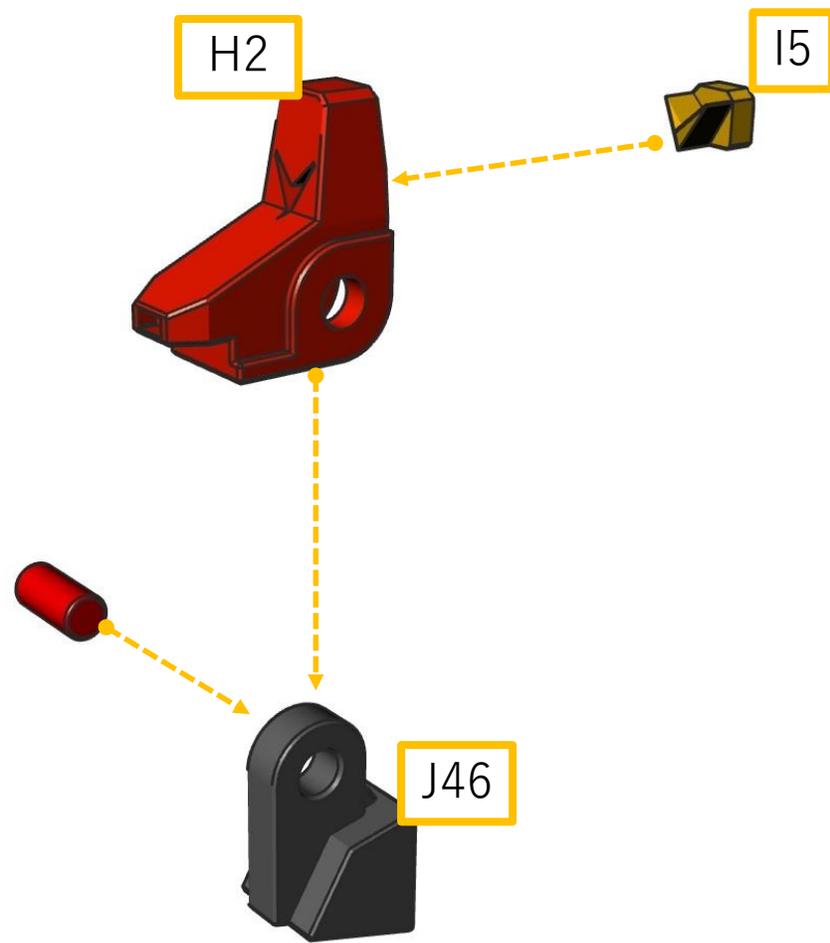
※上図は内部透視図

- ①I3とJ34をE2(E55どちらか歪みが少ない方)に接着します。  
※J34を接着する際、可動部に接着剤が付着しないように注意してください。

# 腰ブロック2

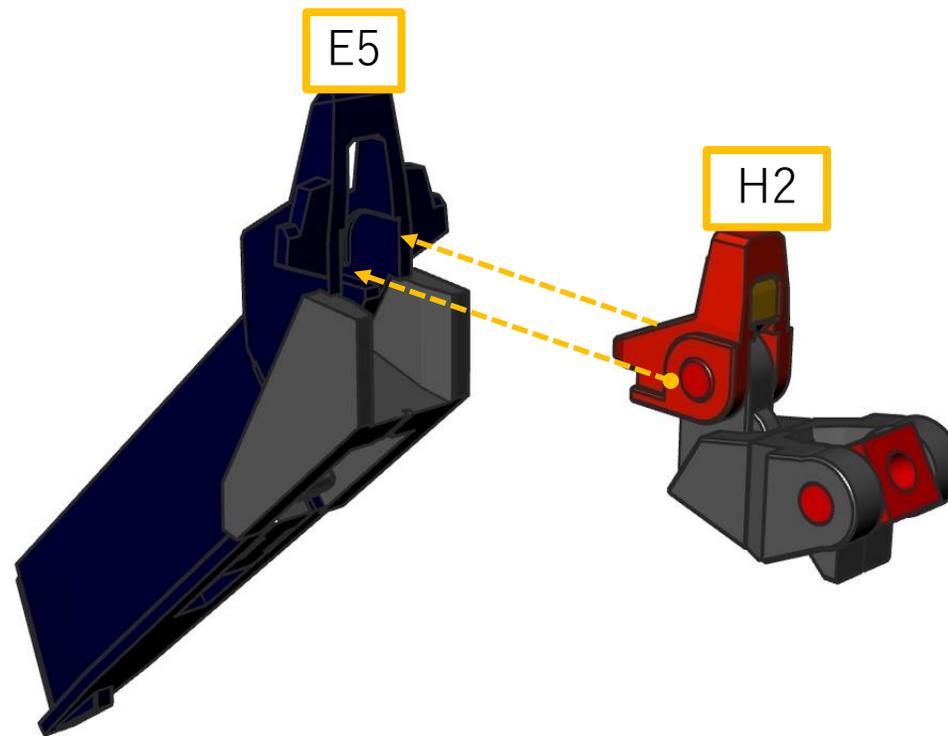
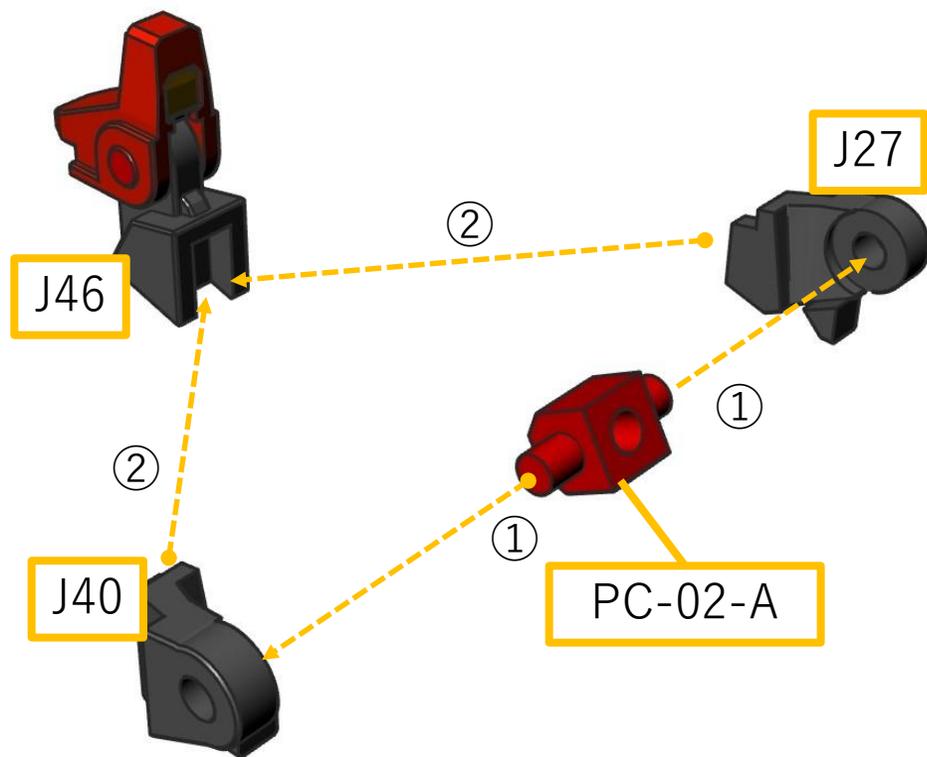


①、②の順に各パーツを接着  
します。  
※E2をJ53に接着する際、右図  
のようにE2の下部の爪をJ53に  
挟み込んでください。



各パーツを上図のように組み合わせて、2mmポリ棒を挿入  
します。I5は接着します。  
※ポリ棒の長さは現物合わせ

# 腰ブロック3

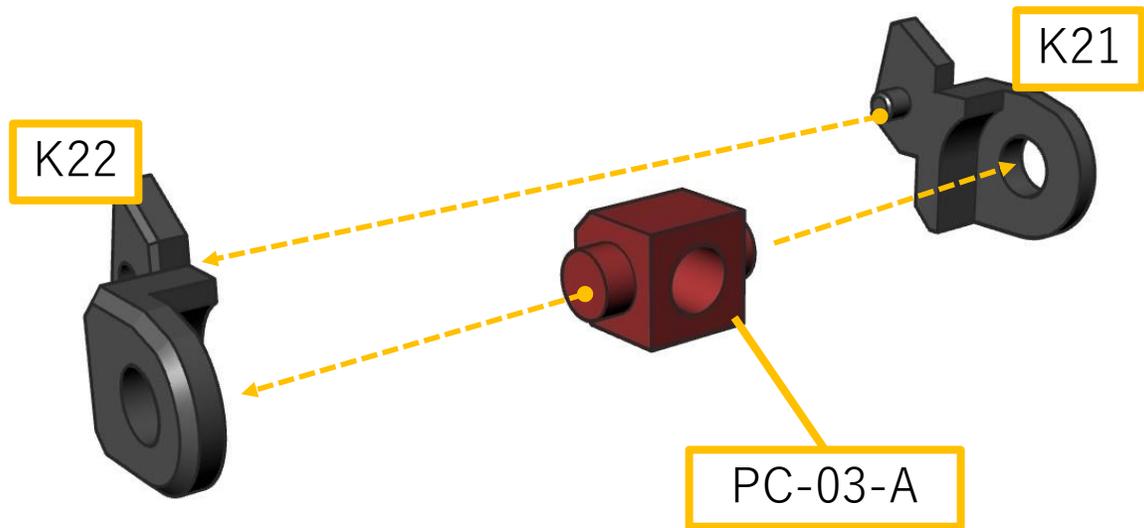


H2をE5の溝に合わせて接着します。 ※J46に接着剤が付着しないように注意してください。

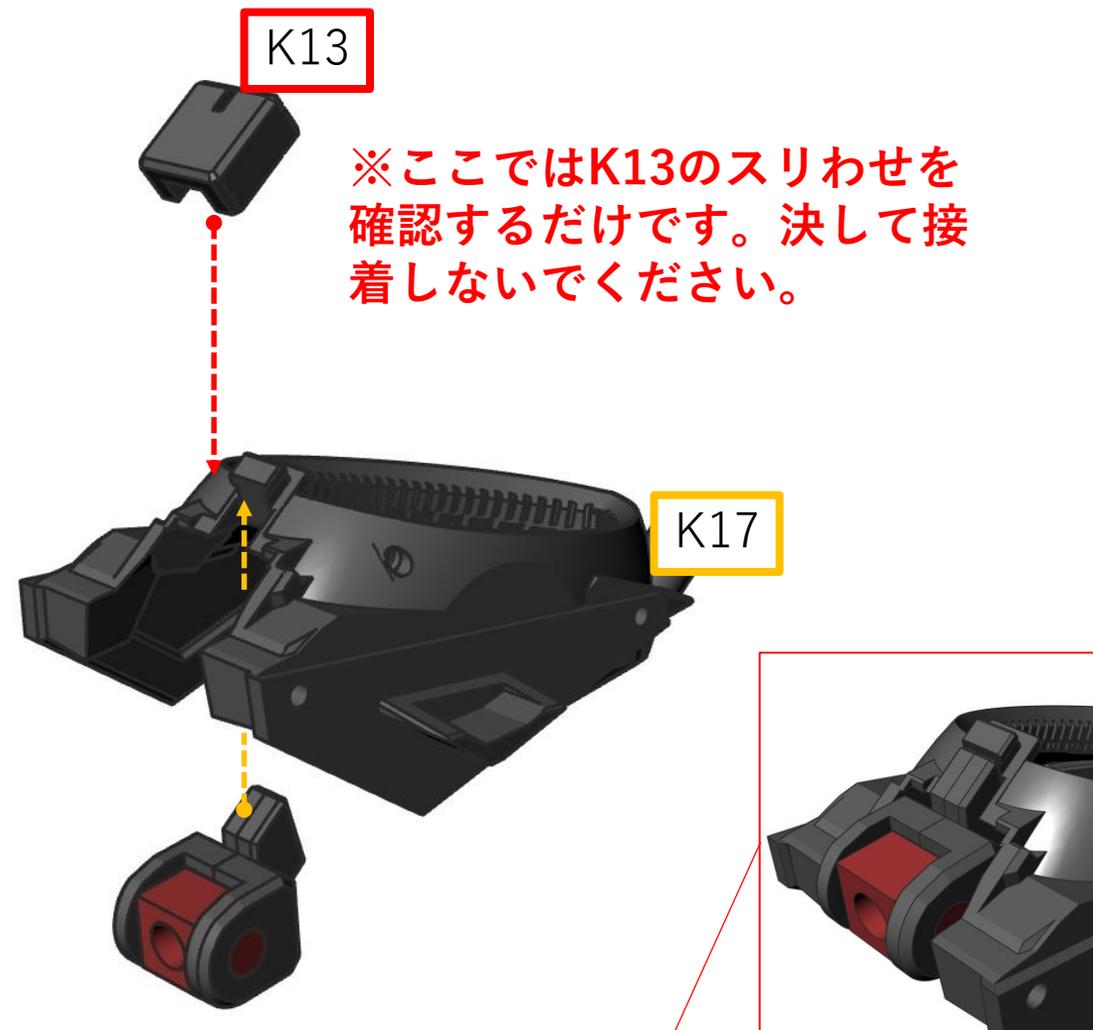
- ① PC-02-AをJ27、J40で挟み込みます。軸は現物合わせでカット。
- ② J27とJ40のダボを正確に合わせてJ46に接着します。

テールの組み立て

# テール1

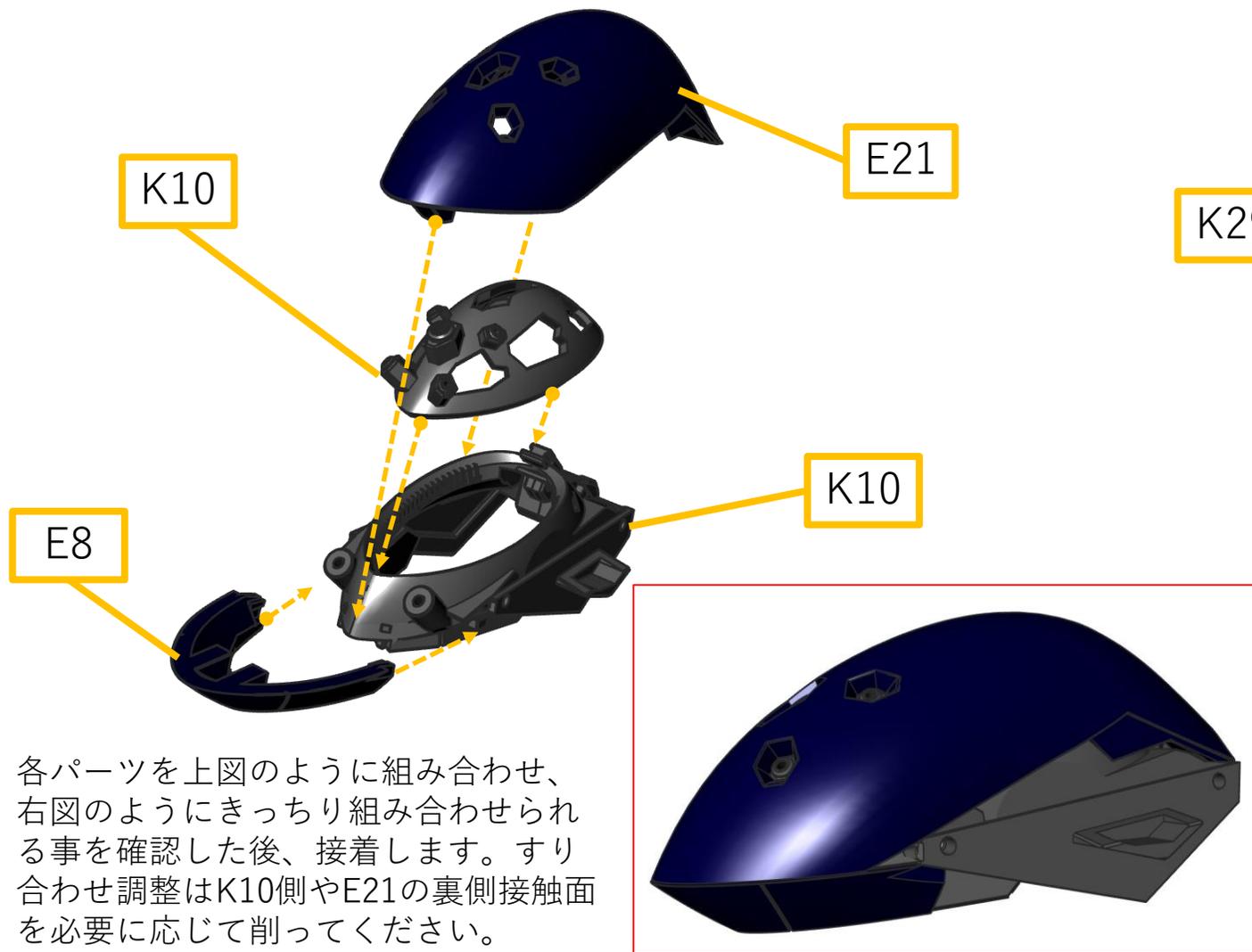


PC-03-AをK21、K22で挟み込み、接着します。軸は現物合わせでカット。

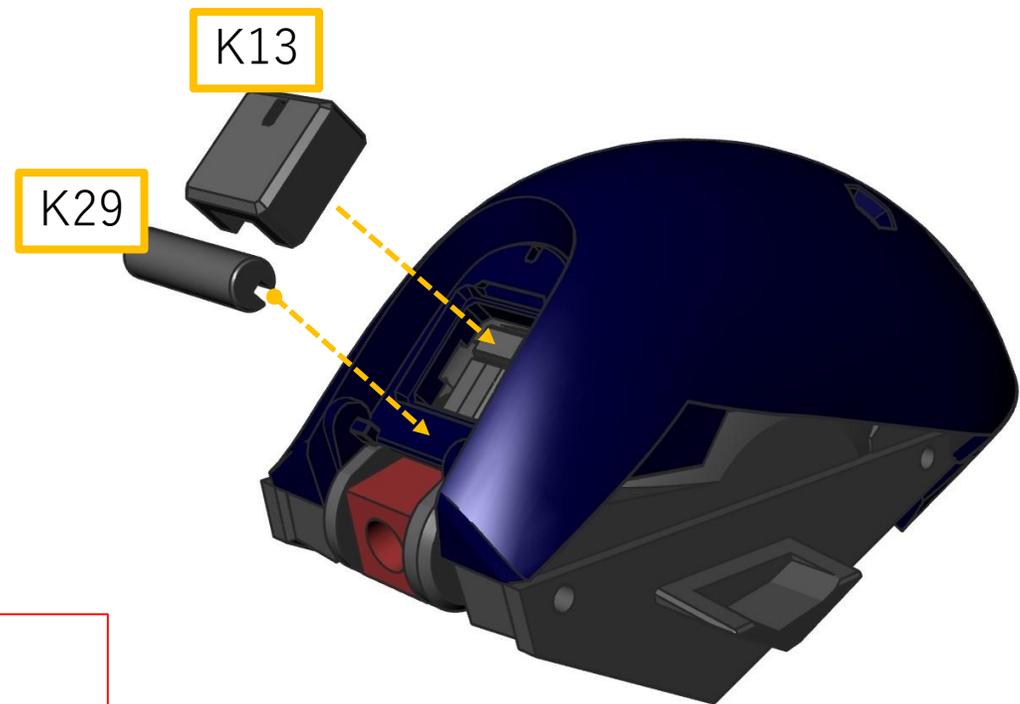


組んだジョイントをK17に合わせ、K13上から差し込んですり合わせを確認し、奥までしっかり挿入できることを確認した後、**ジョイントとK17だけを接着します。**

# テール2

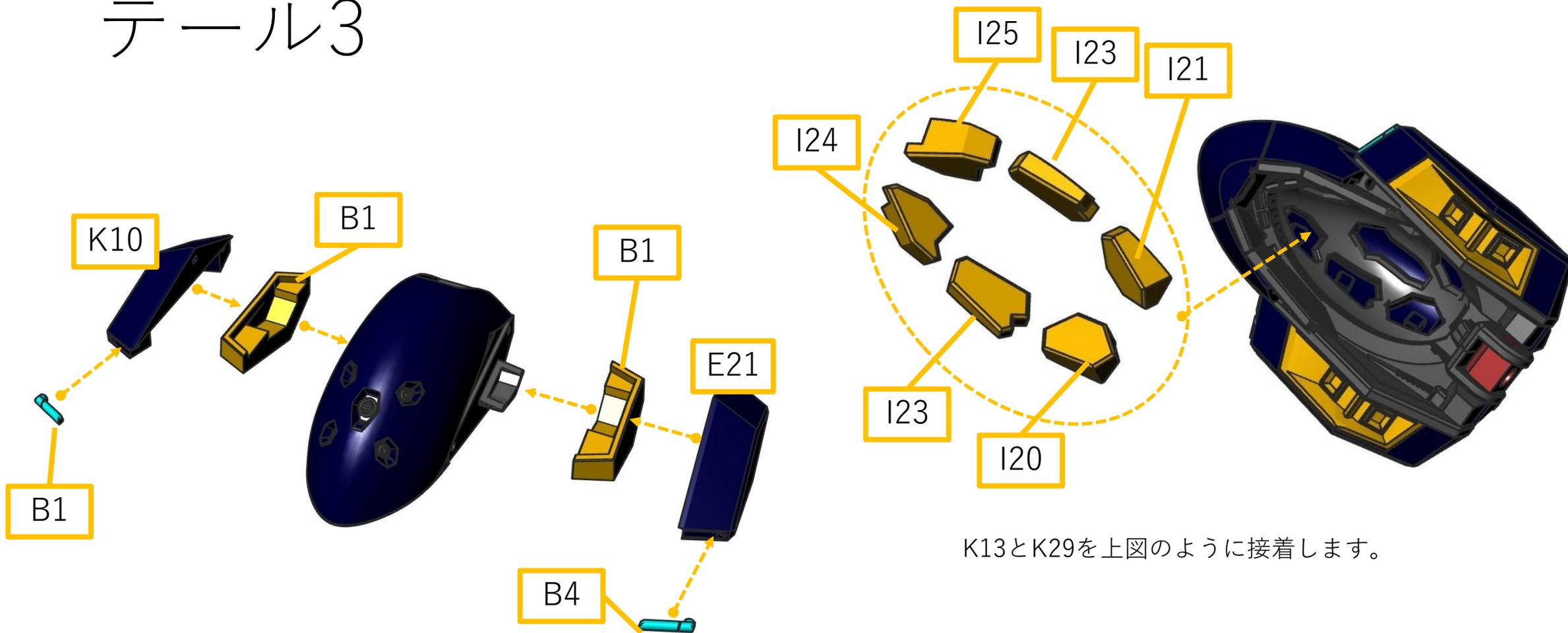


各パーツを上図のように組み合わせ、右図のようにきっちり組み合わせられる事を確認した後、接着します。すり合わせ調整はK10側やE21の裏側接触面を必要に応じて削ってください。



K13とK29を上図のように接着します。

# テール3

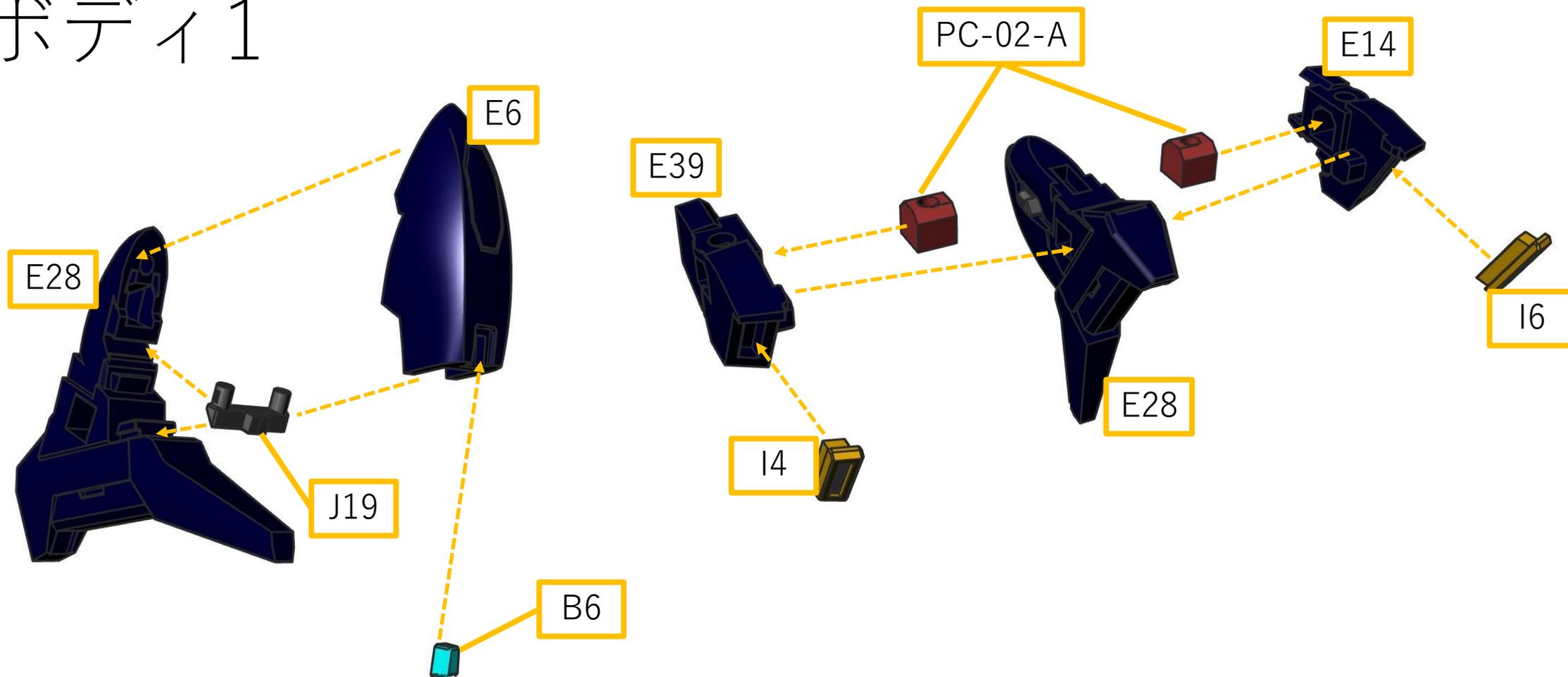


K13とK29を上図のように接着します。

各パーツを上図のように組み合わせ、接着します。

ボディの組み立て

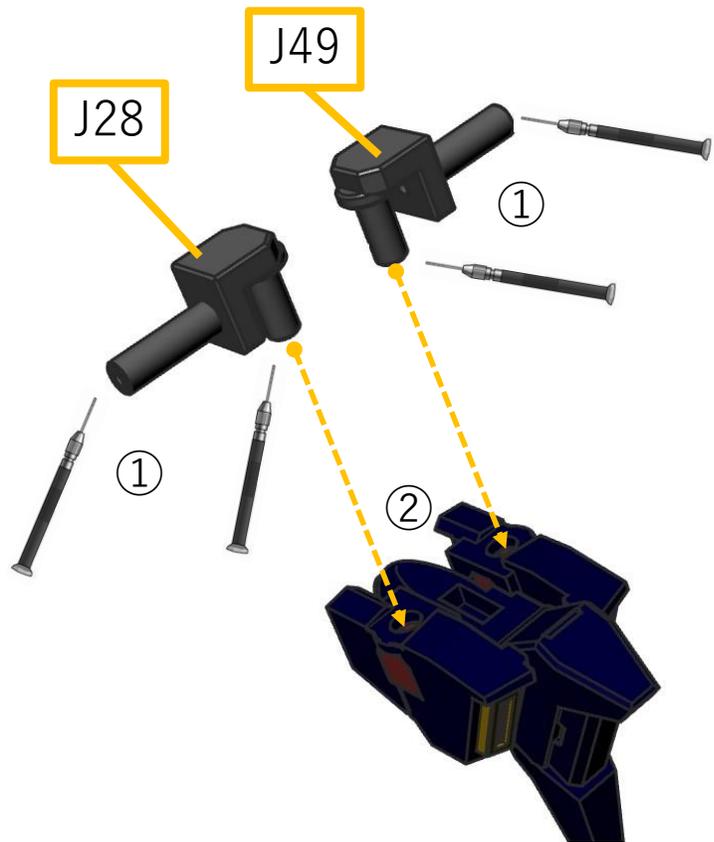
# ボディ1



各パーツを上図のように組み合わせて接着します。

各パーツを上図のように組み合わせて接着します。※PC-02-Aの軸はすべてカットします。

# ボディ2

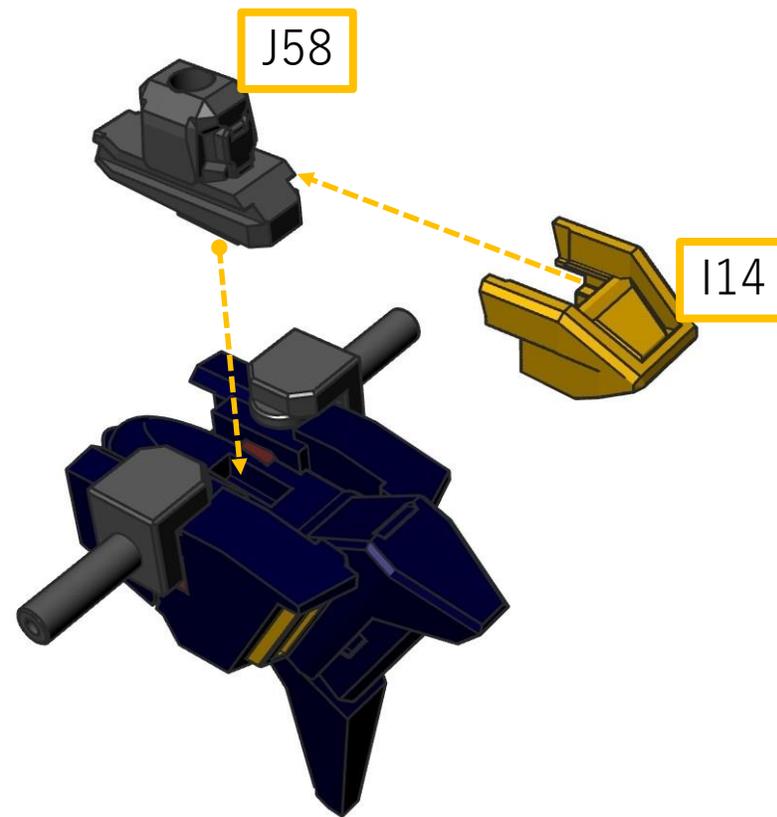


①J28、J49の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。

※垂直方向の軸は真鍮線が貫通しないように注意してください。

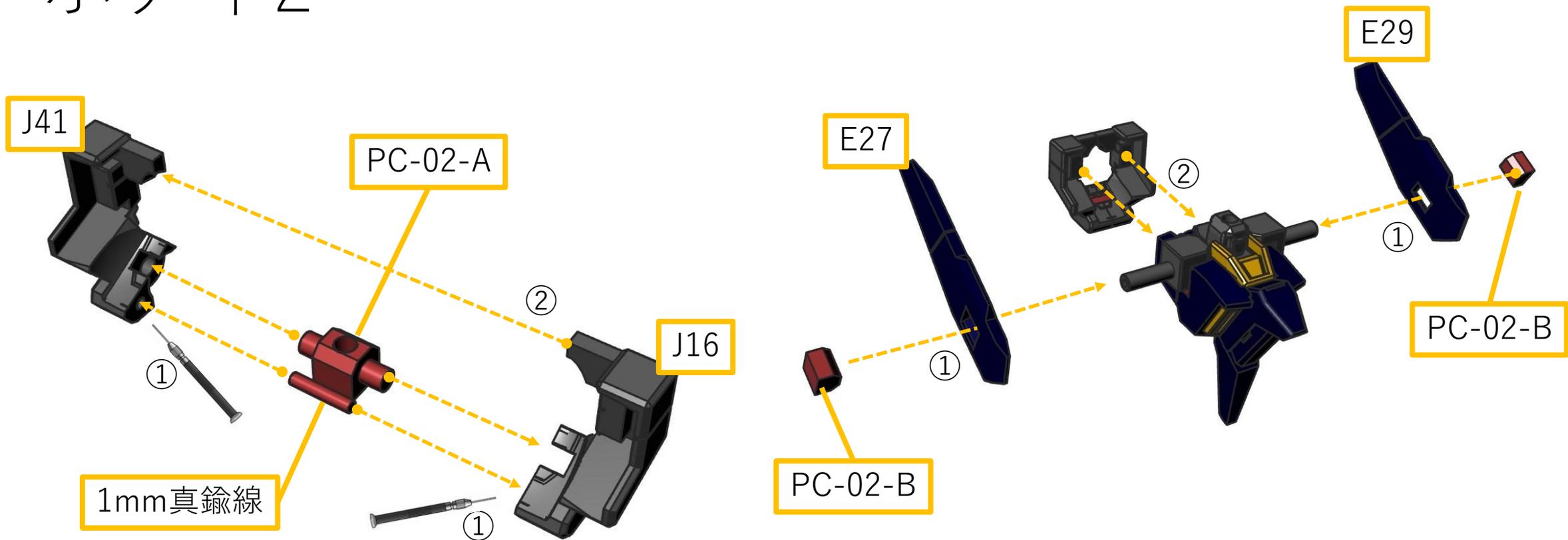
※水平方向は貫通させず、かつ出来るだけ深く真鍮線をインサートしたいです。ダミーのPC-02-Aに差し込んでから水平方向の真鍮線を挿入すると一番深くで接着できます。

②J28とJ49をボディ側ポリに差し込みます。



各パーツを上図のように組み合わせて接着します。

# ボディ2

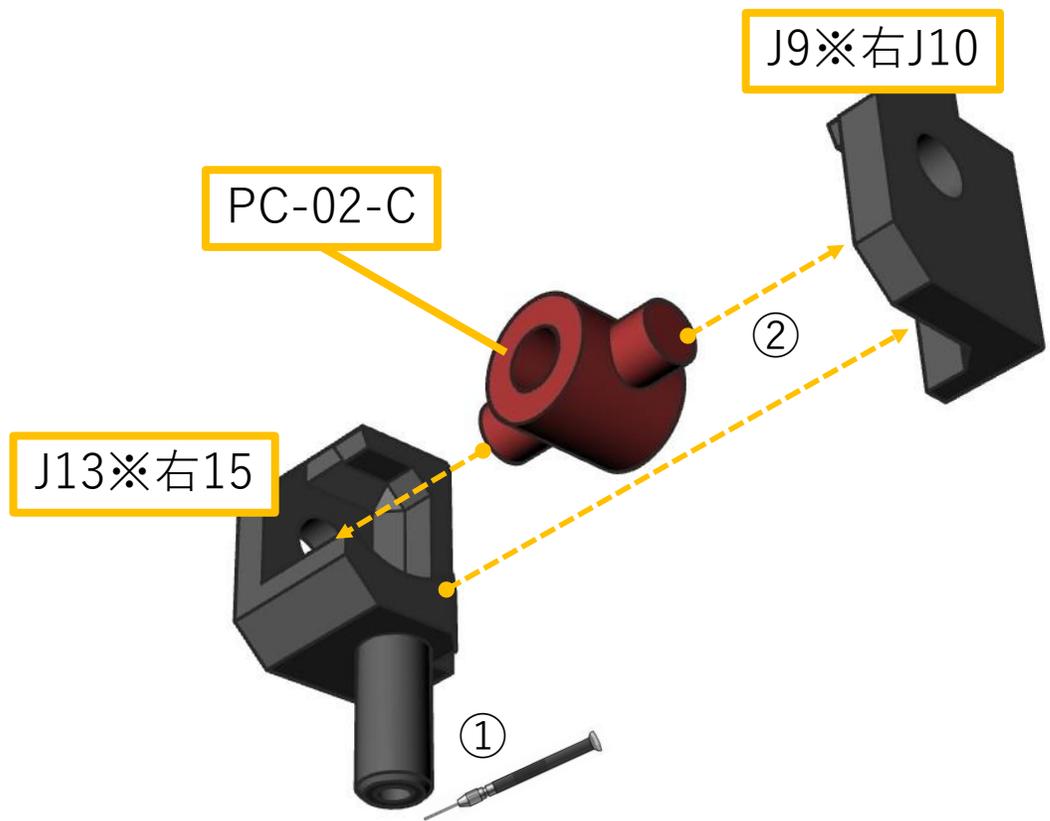


- ①J16、J41の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②上図のようにPC-02-A、1mm真鍮線(長さは現物合わせ)を挟み込んで接着します。

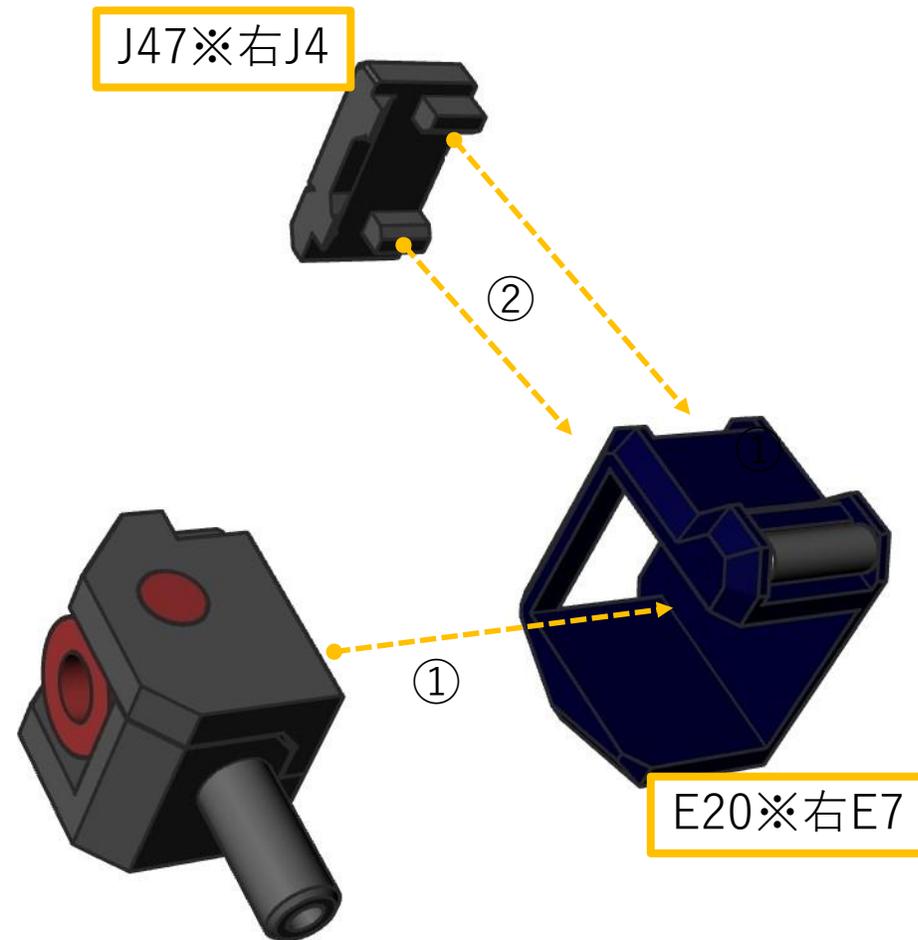
- ①E27、E29をPC-02-Bで外側から抑えながらボディ側肩軸に挿入します。※ポリ軸はすべてカット
- ②背骨フレームとボディ側はしっかり接着します。

腕部の組み立て

# 左腕1 ※右腕も対称で作ります。

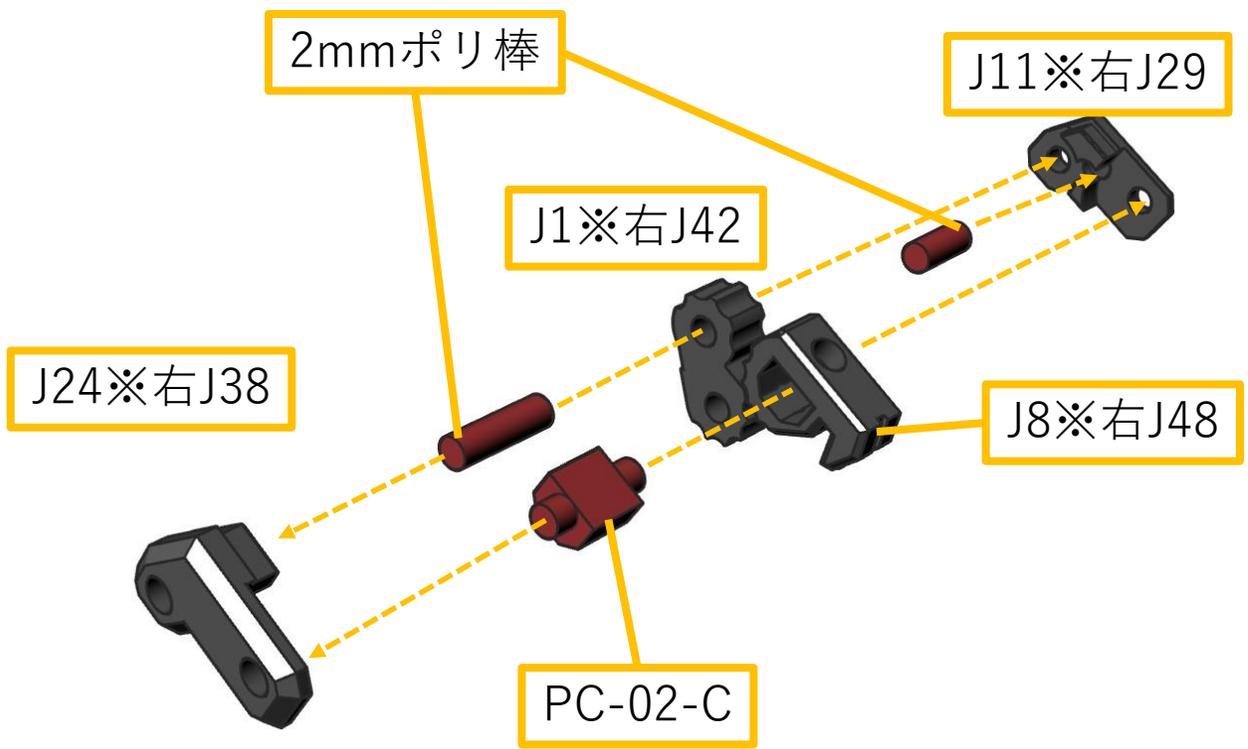


- ①J13の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②上図のようにPC-02-C (長さは現物合わせ)を挟み込んで接着します。

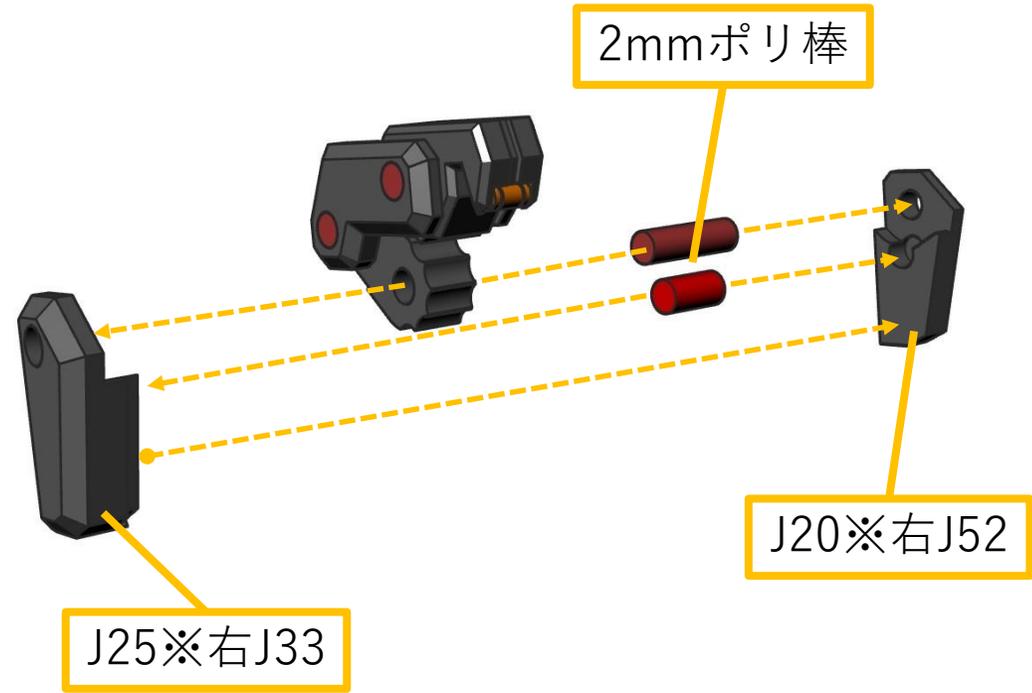
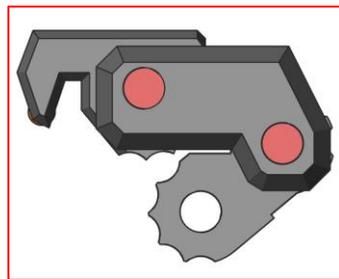


上図のように組み合わせ、①、②の順に接着します。※J47の嵌合がきつい場合、ダボを削って調整してください。

# 左腕2 ※右腕も対称で作ります。

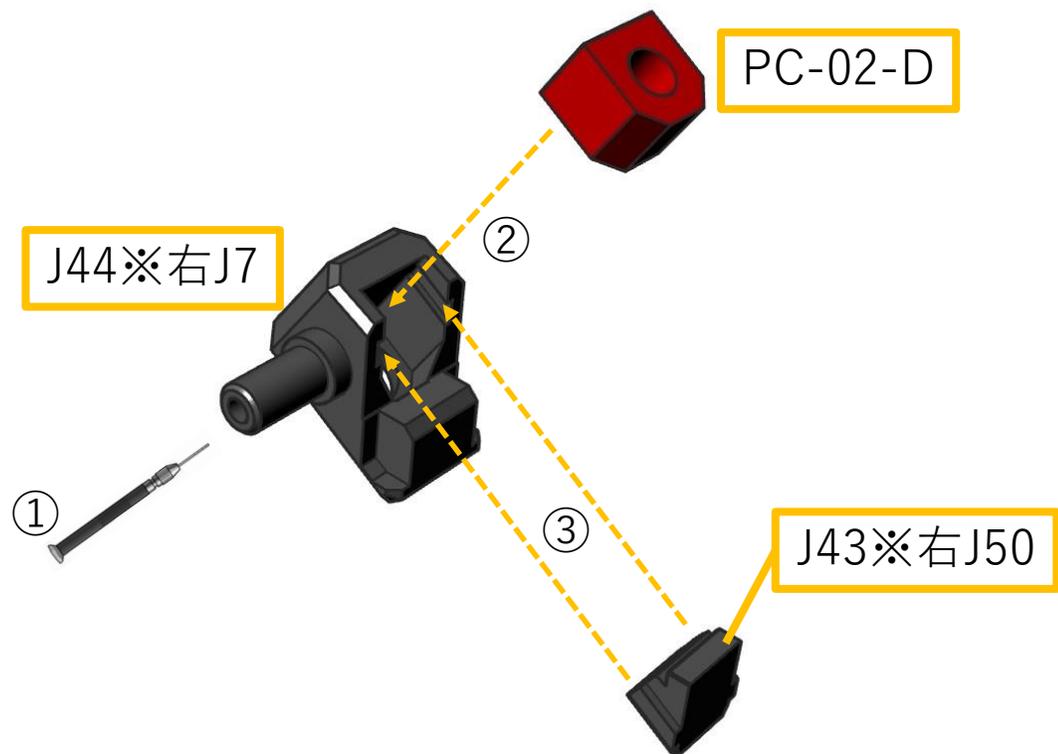


各パーツを上図のように組み合わせ、J11とJ24を接着します。(ポリ軸の長さは現物合わせ)※J1の向きは右図を参照。

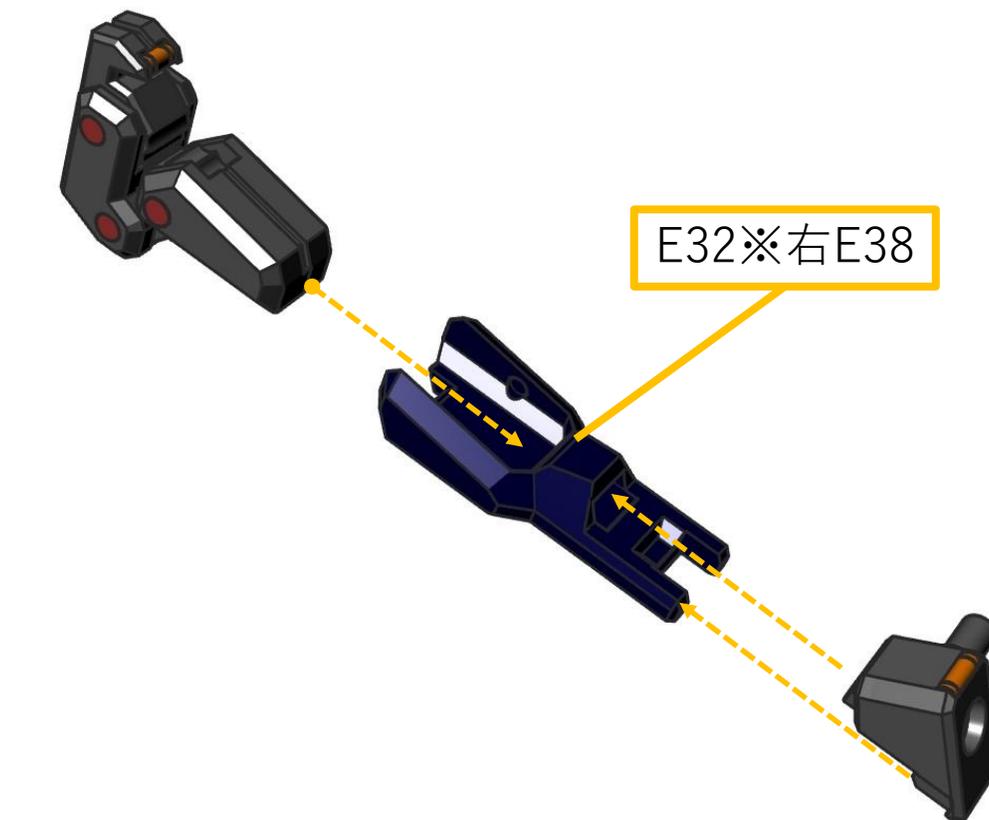


上図のように組み合わせ、J20とJ25を接着します。(ポリ軸の長さは現物合わせ)

# 左腕3 ※右腕も対称で作ります。

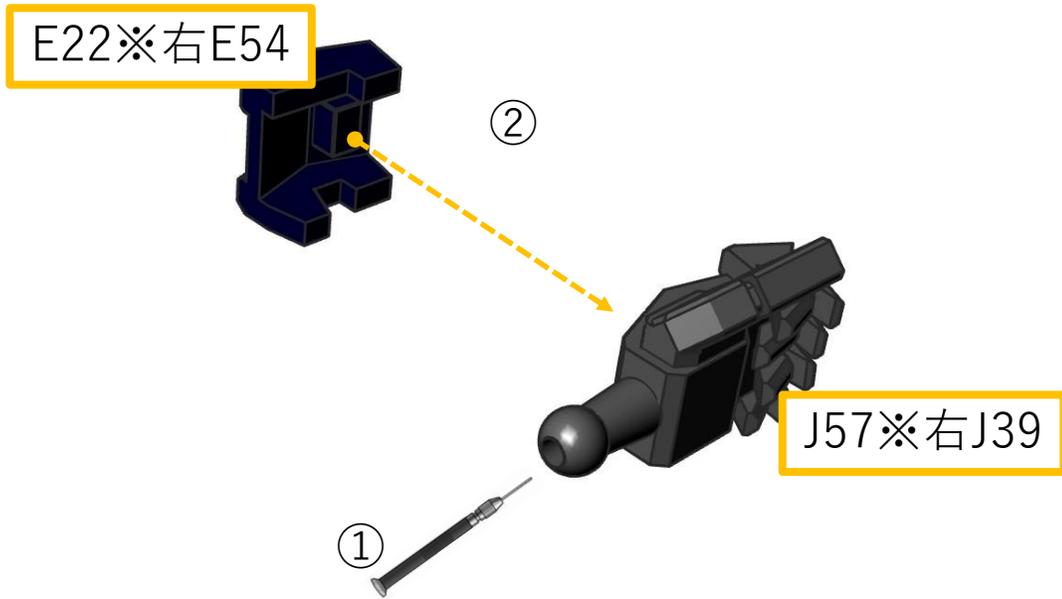


- ①J44の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②軸をカットしたPC-02-DをJ44に挿入します。
- ③J43をJ44に挿入してポリを固定します。しっかり奥まで挿入できることを確認して接着します。

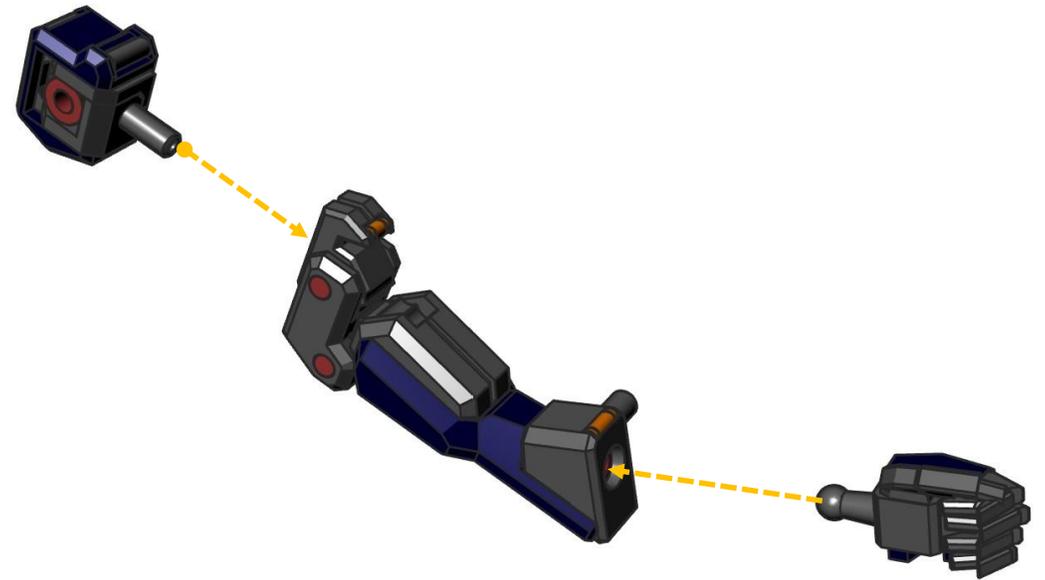


上図のように組み合わせ、各パーツを接着します。

# 左腕4 ※右腕も対称で作ります。



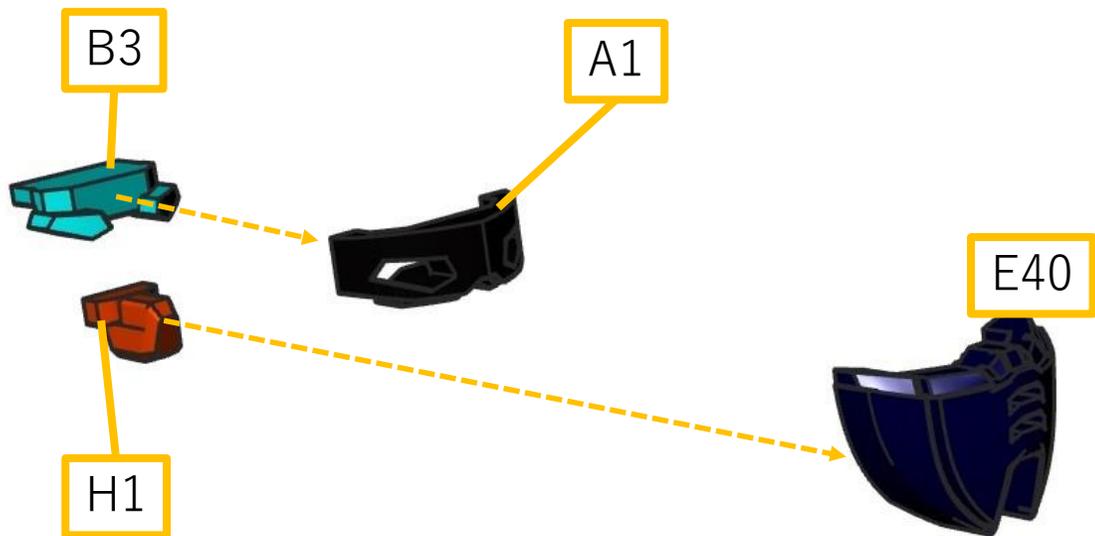
- ①J57の軸穴を1.1mmドリルでトレースし1mm真鍮線をインサート接着します。
- ②E22をJ57に接着します。



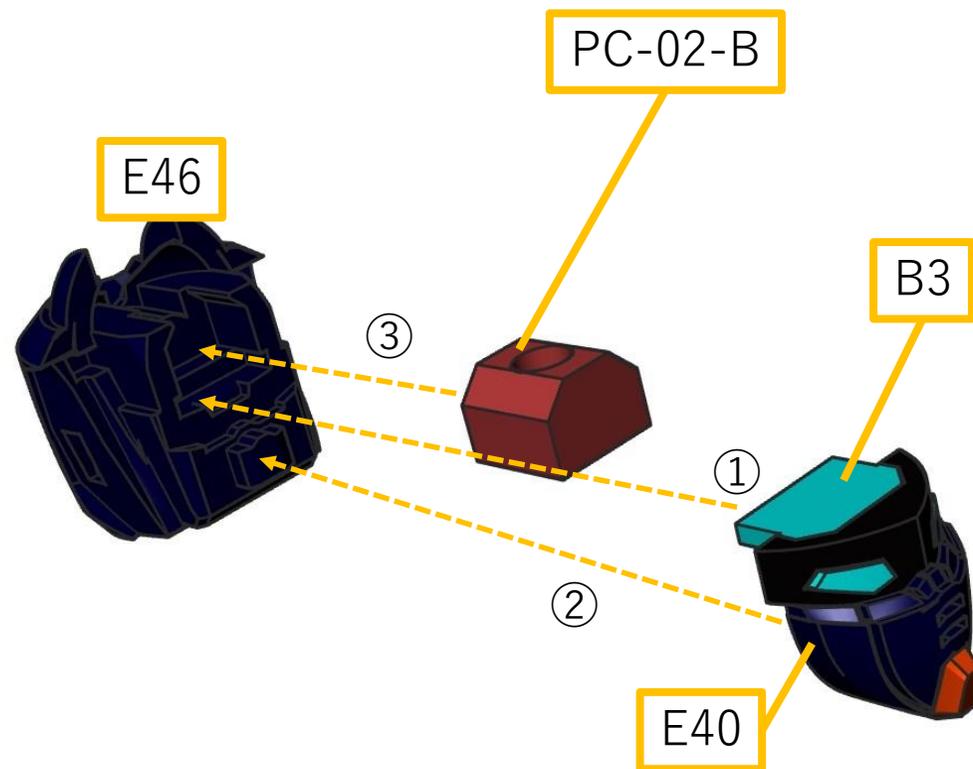
上図のように組み合わせ、各パーツを接続します。

頭部の組み立て

# 頭部1

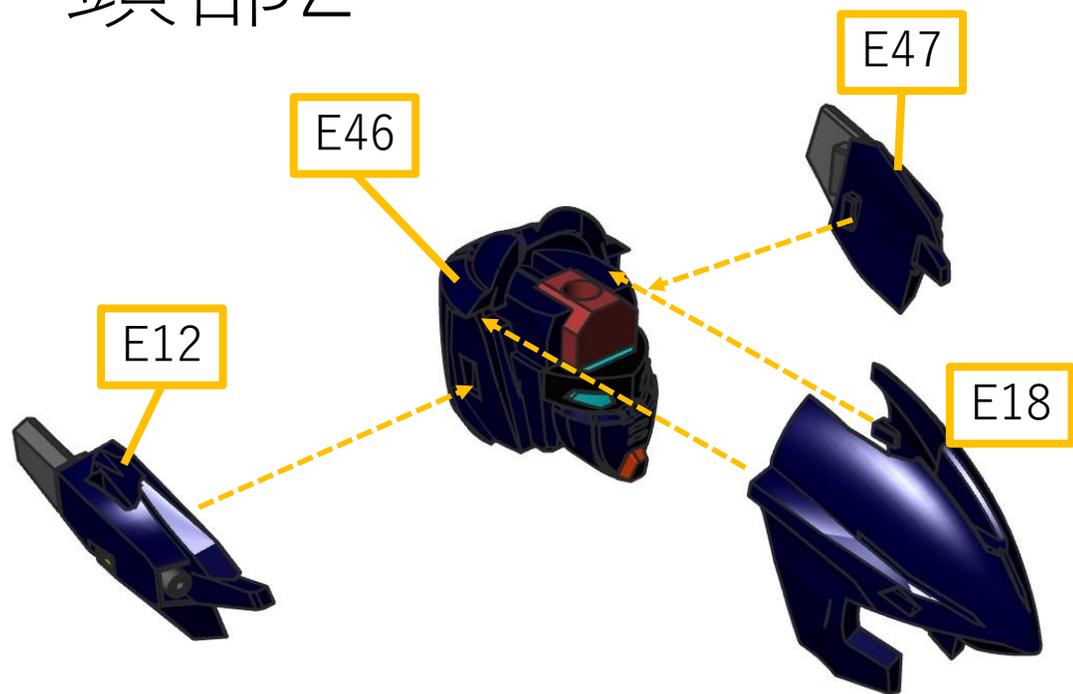


各パーツを上図のように組み合わせ、接着します。※A1とE40はここでは接着しません。

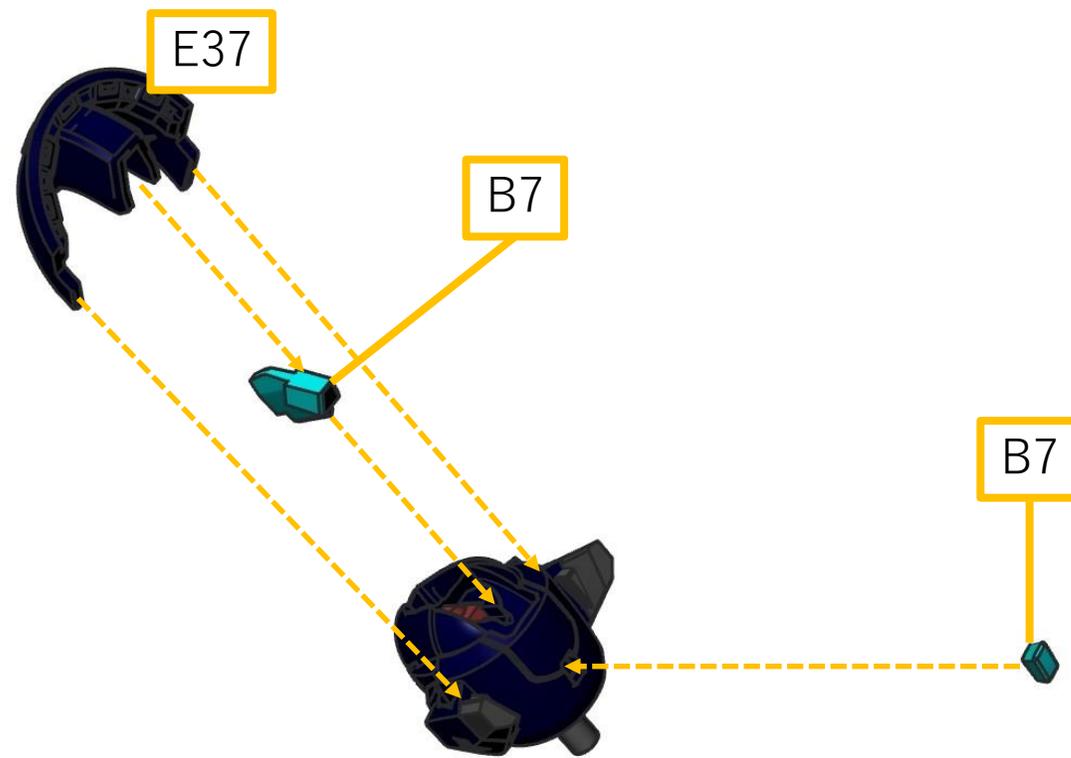


①、②の順番で接着し、PC-02-Bの軸をカットしたものをE46に挿入します。

# 頭部2

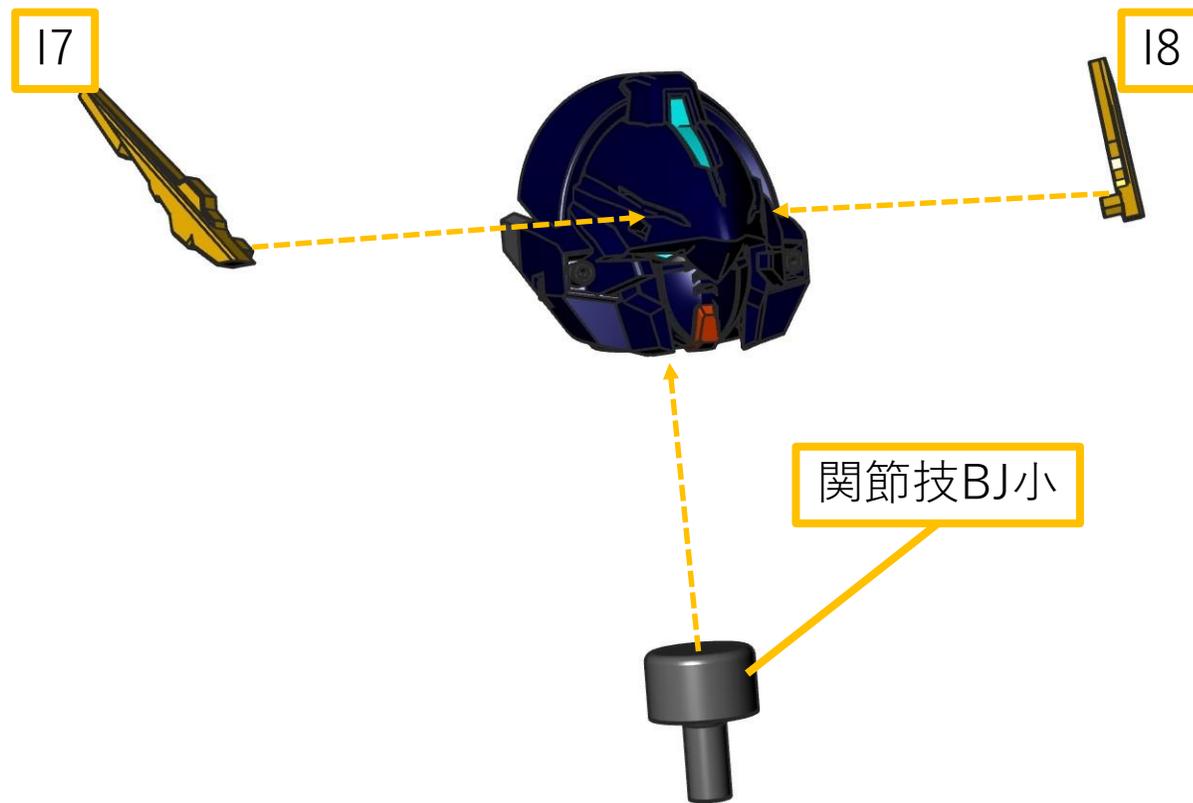
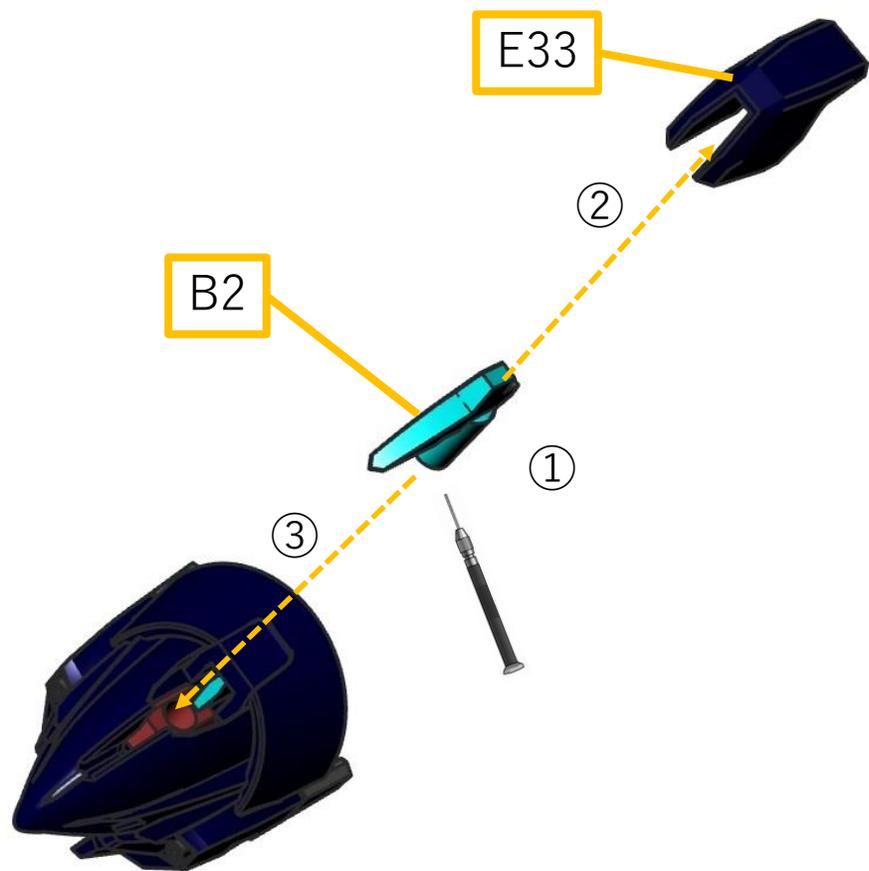


各パーツを上図のように組み合わせ、接着します。



各パーツを上図のように組み合わせ、接着します。

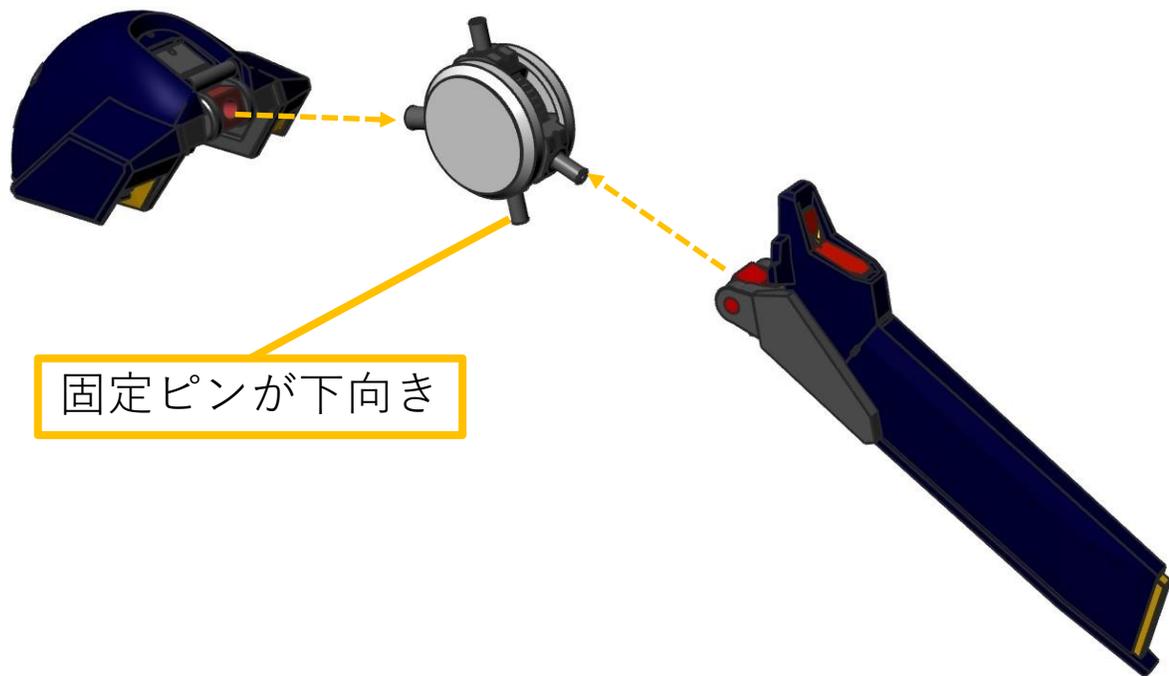
# 頭部3



各パーツを上図のように組み合わせ、接着します。

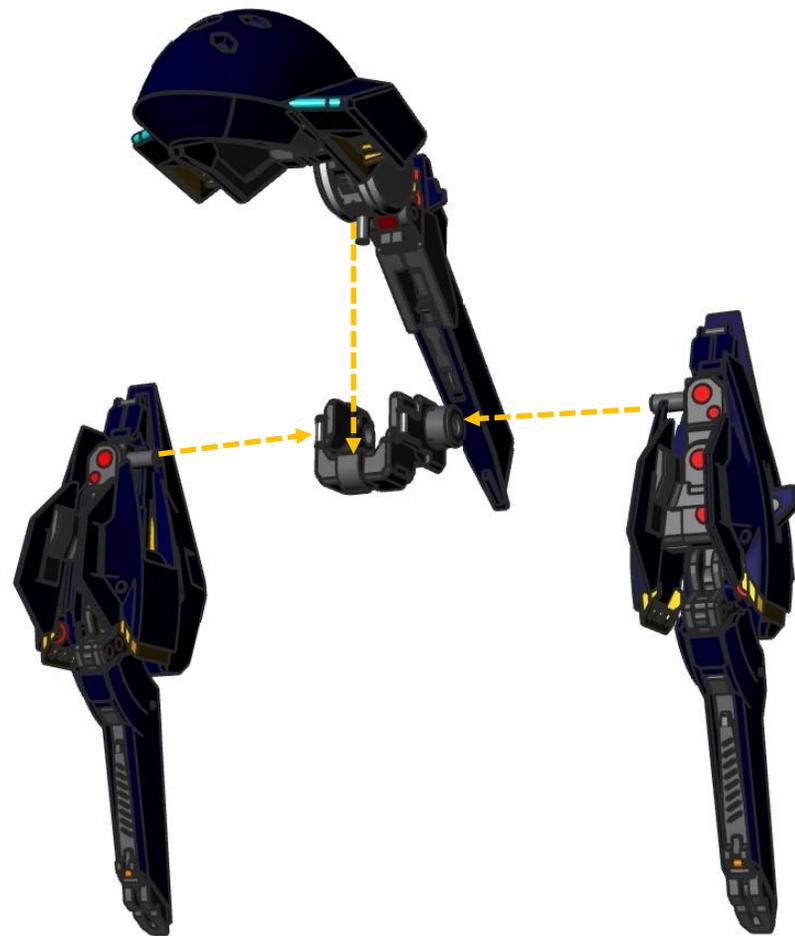
素体最終組み立て

# 素体最終組立1



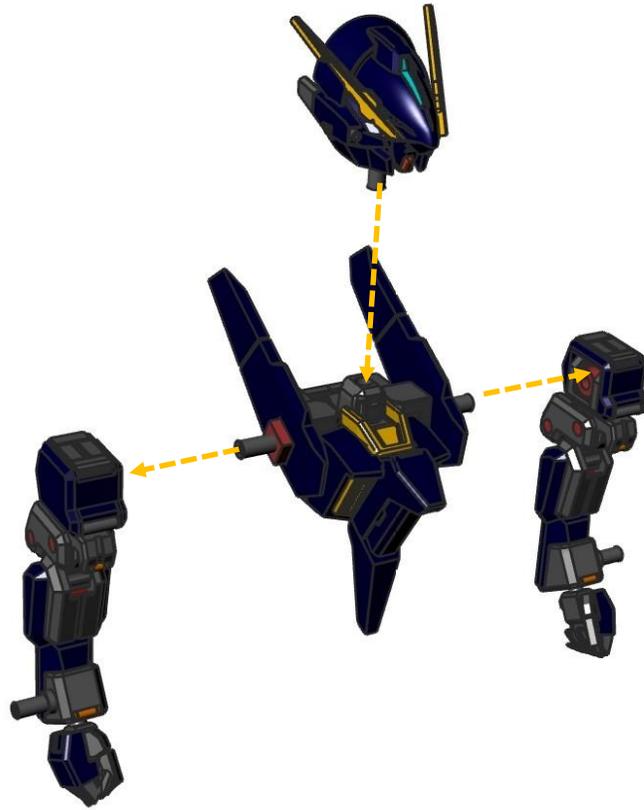
固定ピンが下向き

腰ブロック、テールをドラムフレームに接続します。**※ドラムフレームは固定ピンが下向きになるようにします。**

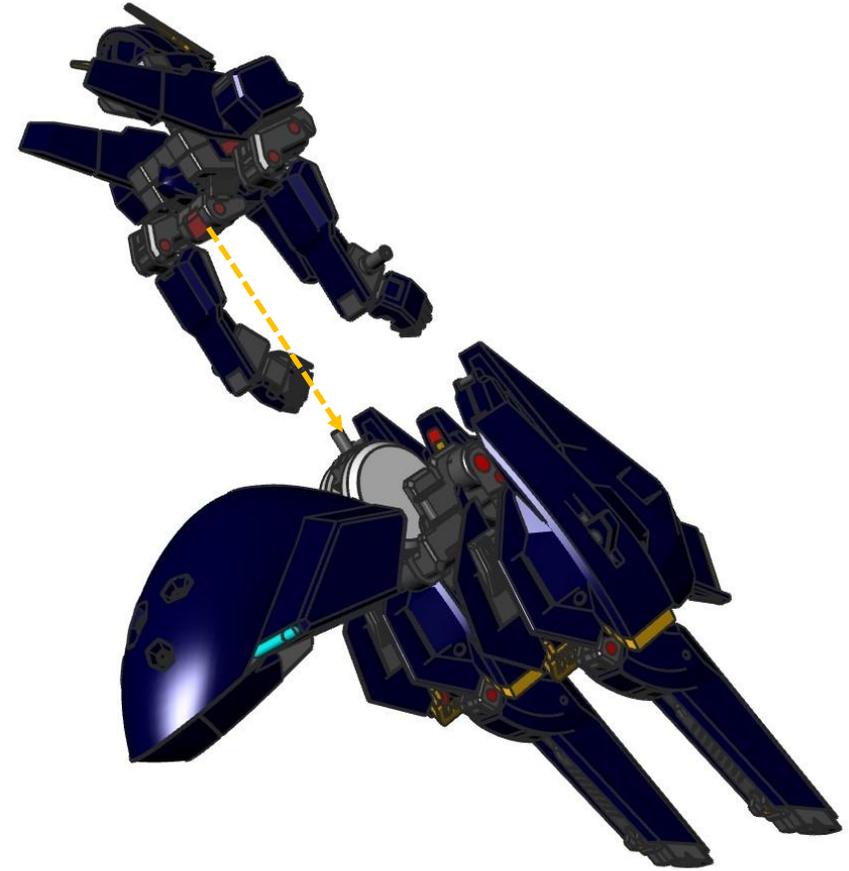


脚部と股関節ブロックを上図のようにドラムフレームに接続します。

# 素体最終組立2



腕部をボディに接続し、頭部はボールジョイントの軸を接着します。



ボディをドラムフレームに接続します。